

# 研究者情報

平成 26 年 度

金沢学院大学・金沢学院短期大学

# 目 次

## ◇金沢学院大学

学園長	p. 1
学長	p. 2
副学長(大学)	p. 3
副学長(短大)	p. 4
大学院(専任)	p. 6
文学部	p. 8
経営情報学部	p. 19
美術文化学部	p. 28
スポーツ健康学部	p. 38
基礎教育機構	p. 47

## ◇金沢学院短期大学

ライフデザイン総合学科  
食物栄養学科

## ◇索引

氏名(五十音順)	p. 70
----------	-------

# 金沢学院大学 学園長

(Yutaka Tsukinoki)

教授 **槻木 裕** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 哲学Ⅰ・Ⅱ 社会コミュニケーション論 思想・哲学演習  
卒業研究 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士 (京都大学)
- ④ 所属学会 : 日本哲学会 日本科学哲学会 比較思想学会 他
- ⑤ E-mail : [tukinoki@kanazawa-gu.ac.jp](mailto:tukinoki@kanazawa-gu.ac.jp)

## I. 主な研究業績・作品等

- ◇『文学でたどる浄土真宗のエステー—問いかける仏、問いかける宗教』(探究社 2009年6月)
- ◇一元論的実在論のもとでの判断論—分岐点としてのF.H.ブラッドリーの哲学(『北陸宗教文化』第19号、2007年3月)
- ◇「空へと至る基本的“論理”と矛盾律」(『比較思想研究』第30号 2004年3月)
- ◇『現代の無我論—古典仏教と哲学』(晃洋書房 2003年10月)
- ◇「無我説と行為主体の問題—現代哲学の視点から—」(『比較思想研究』第25号 1999年3月)
- ◇『ゲーム理論の哲学—合理的行為と理性の狡智—』(M.ホリス)全訳(晃洋書房 1998年3月)
- ◇「カント倫理学と無心」(『比較思想研究』第24号 1998年3月) 他

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

人間が行為・行動するさいの概念機構の研究。ここ何年かは仏教の空思想の解明を、概念機構のあり方の研究の一環として取り組んできた。現在はブラッドリーの観念論的一元論や西田幾多郎の一元論に興味がある。

# 金沢学院大学 学長

(Minoru Akiyama)

教授

秋山 稔

人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本文学概説 I・II 日本文学講読VI 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会 昭和文学会 泉鏡花研究会 室生犀星学会
- ⑤ E-mail : akiyama@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇『泉鏡花 転成する物語』(2014.4、梧桐書院) ◇「泉鏡花「転成する物語」覚書」(「鏡花研究」13号、2013.3) ◇「帰郷小説としての『縷紅新草』」(「昭和文学研究」64集、2012.3) ◇「自然主義と鏡花」(「解釈と鑑賞」2009.9) ◇「勝手口から戦場へー泉鏡花『勝手口』試論」(「日本近代文学」第七十九集、2008.11) ◇『室生犀星事典』(2008.9、鼎書房) ◇『新編 泉鏡花集』第1巻〈金沢一〉、第2巻〈同二〉、第9巻〈北陸〉(2003.10、2004.2、2004.4、岩波書店) ◇『徳田秋聲金沢シリーズ 郷里金沢』『同 挿話・町の踊り場』『同 感傷的の事』(2005.8、2005.12、2006.3、能登印刷出版部)

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①泉鏡花・徳田秋聲を視点として近代文学史を再検討すること。

# 金沢学院大学 副学長

(Masahiro Ate)

教授 阿手 雅博 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営情報処理基礎 情報処理演習Ⅱ 基礎演習 演習 特  
論演習 問題解決システム研究 他
- ② 出身学校 : 富山大学大学院
- ③ 学 位 : 博士(工学) 大阪大学
- ④ 所属学会 : 経営情報学会 オペレーションズリサーチ学会 日本鑄造  
工学会
- ⑤ E-mail : ate@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

- ◇「技術経営の中小製造業への適用」(金沢学院大学紀要 経営・経済・社会学編 第8号)
- ◇「意思決定と支援システム」(金沢学院大学紀要 経営・経済・社会学編 第4号)
- ◇「記述問題の自動評価を目指した教育支援システムによる Interactive Education」(情報教育方法研究 Vol.3 No.1,37)
- ◇「自然言語処理による欠陥対策現場情報の知識整理」(鑄造工学 Vol.75 No.3)
- ◇「スコア法による欠陥対策の意思決定支援システム」(鑄造工学 Vol.75 No.4,270)
- ◇Accumulation of the Knowledge by a Casting Defect Data Base : International Journal of Materials & Product Technology Vol.19 No.6 他

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①意思決定支援システム ②鑄造方案支援エキスパートシステム ③自然言語処理による技術文書の有効活用

# 金沢学院短期大学 副学長

(Kumiko Kouchi)

教授 河内 久美子



- ① 担当科目 : 住空間デザイン インテリア基礎 インテリア計画 住宅設計 I  
店舗計画・設計 卒業研究 I・II 他
- ② 出身学校 : 奈良女子大学大学院家政学研究科修士課程
- ③ 学 位 : 家政学修士
- ④ 所属学会 : 日本建築学会 日本家政学会 日本インテリア学会
- ⑤ E-mail : kouchi@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

◇「子育て環境と色彩景観」(金沢学院短期大学 紀要第7号) ◇「地域生活文化と連携した教育方法改善に関する研究」(金沢学院短期大学 紀要第5号) ◇「The research of junior college's education in cooperation with indigenous industries I・II・III」(13th BIENNIAL ARAHE CONGRESS) ) ◇設計作品①「氷見の家」氷見市木造一部鉄骨2階建(専用住宅)改築案 ②「T邸」野々市町型枠補強CB造3階建(専用住宅)2002年竣工 ③「小立野の家」金沢市型枠補強CB造3階建(専用住宅)1999年竣工 他

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①デザインで育む心豊かな子育て環境(学内共同) ②住居提案と模型製作の連携教育システム-短期大学生の創造能力とIT応用能力の育成-(学内共同) ③金沢の生活文化を題材にした『卒業研究』のテーマ設定と指導法

## ◇金沢学院大学

- 大学院（専任）
- 文学部
- 経営情報学部
- 美術文化学部
- スポーツ健康学部
- 基礎教育機構

# 金沢学院大学 経営情報学研究科 (専任)

研究科長 根本 博

	教授	准教授	講師	助教
博士前期課程				
博士後期課程	西田 英郎			

(Hideo Nishida)

教授

西田 英郎

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 環境評価特論 環境ビジネス特論 データ解析特論 特  
論演習 他
- ② 出身学校 : 東京理科大学
- ③ 学 位 : 工学博士 (東京工業大学)
- ④ 所属学会 : 日本統計学会 環境科学会
- ⑤ E-mail : nishidah@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「CLASSIFICATION OF THE VEGETATION IN DARHADYN DEPRESSION MONGOLIA-ANALYSIS OF AN AERIAL PHOTOGRAPH WHICH PROVIDED BY A MOTOR PARAGLAIDE」(Proceedings of the Scientific Conference [Problems of Conservation of the inner Asia Vegetation] September 7-10 2004 IGEB:Ulan-Ude, Russia 平成 16 年 9 月) ◇「RESEARCH OF THE DARHADYN WETLAND IN MONGOLIA」(ABSTRACTS OF INTERNATIONAL CONFERENCE ON 「BIODIVERSITY OF EURO-ASIA CONTINENTAL WETLAND」 September 6-9 2004 MSUE&IMNU : Ulaanbaatar, Mongolia 平成 16 年 9 月) ◇ 「DARHADYN WETLAND IN MONGOLIA」 NPO Mongolia Ecology Information Center.2009 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①モンゴル DARHADYN 湿地帯総合調査 ②類似尺度の性質について ③河川汚濁の費用便益分析

# 金沢学院大学 文学部

学部長 水洞 幸夫

	教授	准教授	講師	助教
日本文学科	○水洞 幸夫 柳澤 良一	朝木 敏子 薮 際子 寺田 達也 寺田 智美		
国際文化学科	○木梨 由利 G. ベイトソン R. ブローダウェイ	中崎 崇志 前川 浩子	大滝 宏一	
歴史文化学科	石崎 建治 小嶋 芳孝 清水 宣義 東四柳 史明 ○見瀬 和雄	中村 晋也	仲丸 英起	

○：学科長

(五十音順)

(Yukio Suido)

教授 **水洞 幸夫** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本語・日本文学基礎研究 日本文学講読Ⅴ 日本文学演習Ⅵ・Ⅶ 日本語表現法演習Ⅱ 博物館実習Ⅰ・Ⅱ他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会
- ⑤ E-mail : suido@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

- ◇「芥川龍之介『鼻』論」(『金沢学院大学紀要第9号』文学・美術・社会学編2011年3月) ◇「芥川龍之介『羅生門』論—下人が盗人になる理由—」(『金沢大学国語国文34号』2009年3月)
- ◇「太宰治『家庭の幸福』論—ラジオ的な〈幸福〉を超えて—」(『太宰治研究16号』2008年6月) ◇「芥川龍之介『疑惑』試論—沈黙する「私」を超えるドラマー」(『金沢学院大学紀要第6号』文学・美術・社会学編2008年3月) ◇「芥川龍之介『お富の貞操』試論—〈可哀さう〉の射程—」(『金沢学院大学紀要第4号』文学・美術編2006年3月) ◇「芥川龍之介『六の宮の姫君』試論」(『金沢学院大学紀要第3号』文学・美術編2005年3月) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本近代文学。特に大正期の散文作品を中心に、その享受史も考慮しつつ、作品の新しい〈読み〉をさぐる。

(Ryōichi Yanagisawa)

教授 **柳澤 良一** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本文学講読Ⅰ 日本文学演習Ⅰ・Ⅶ 漢文学講読 国語科教育法Ⅰ 生徒・進路指導論 教育実習Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 和漢比較文学会(常任理事) 和歌文学会 中古文学会 日本中国学会 他
- ⑤ E-mail : yanagi@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

- ◇『和漢朗詠集・新撰朗詠集』(共著、明治書院、2011年7月) ◇『新撰朗詠集全注釈』一～四卷(新典社、2011年2月～7月) ◇『石川県立図書館蔵 川口文庫 善本叢書』一～三卷(勉誠出版、2008年10月～2010年11月) ◇「石川県立図書館蔵 川口文庫『文筆問答鈔』の研究(一)」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第12号、2014年3月) ◇「『源氏物語』「乙女」巻の「四韻」と「絶句」(京都大学『国語国文』第78巻第10号、2009年10月) ◇「菅原道真と渤海使の交流」(『菅原道真論集』勉誠出版、2003年2月) ◇『続撰和漢朗詠集とその研究』(和泉書院、2001年2月)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

平安時代の文学研究。特に研究のゆきとどいていない平安中・後期の漢詩文の諸作品について、基礎的な本文批判(テキストクリティーク)と注釈の研究を中心に行う。

(Yuri Kinashi)

教授 **木梨 由利** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : アドバンスト・イングリッシュⅢ・Ⅳ 英米文学講読Ⅰ 英米文学演習Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 津田塾大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本英文学会 日本ハーディ協会 日本ヴァージニア・ウルフ協会 日本オースティン協会
- ⑤ E-mail : kinashi@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「『カスターブリッジの町長』—映画を通して見る世界—」(『カスターブリッジの町長』についての11章』英宝社 2010年) ◇「小説の世界と映画の世界」(『「ジュード」についての11章』英宝社 2003年) ◇「運命への挑戦—トーマス・ハーディ『ダーバヴィル家のテスト』」(『愛の航海者たち—イギリス文学にみる愛のかたち』南雲堂 1994年) ◇「過去の影の下に—エリザベス・ボウエン『パリの家』」『現代イギリス小説と女性—新しい地平を求めて—』(荒竹出版 1985年) ◇「『エマ』Ⅰ 語りの技法」『ジェイン・オースティン—小説の研究—』(荒竹出版 1981年)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

オースティンやハーディを初めとする、19世紀及び20世紀のイギリス小説と技法の研究。特に、原作と映画との関係に重点をおいて研究中である。

(Bateson, Gordon)

教授 **G. ベイトソン** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : イングリッシュコミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ ライティング アドバンスト・イングリッシュⅢ・Ⅳ 他
- ② 出身学校 : ロンドン大学 英国アストン大学
- ③ 学 位 : 科学士 (B. Sc.) 科学修士 (M. Sc.)
- ④ 所属学会 : JALT 全国語学教育学会
- ⑤ E-mail : gordon@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「ムードルフォーラムの利用と適合によって授業中のディスカッションを促進(共著) (金沢学院大学紀要 第8号 2010年) ◇コンテンツの充実を目指したメンターの設定(共著)2009年9月 JALTCALL Journal ◇教材製作のためのパソコン画面記録ソフトウェア(共著)2008年度情報教育研究会論文集◇「教育法としての Moodle 上でのディスカッションツール(共著)2008年度情報教育研究会論文集 ◇中級「ムードル」: 言語学講師へのアイデア(共著) 2008年12月 JALTCALL Journal ◇Putting Breeze Online(金沢学院大学紀要 第3号 2005年) ◇Mashing Hot Potatoes with Moodle(EuroCALL 2005, TESOL 2005) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①CALL (Computer Assisted Language Learning) ②チームティーチングと専門職としての発展 ③異文化コミュニケーション

(Broadaway, Rick)

教授 R. ブロードウェイ



- ① 担当科目 : 英米文化論 I・II イングリッシュコミュニケーション I・II・III ハイステップ・イングリッシュ 他
- ② 出身学校 : コロラド州立大学
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 全国語学教育学会 Southern Comparative Literature Association
- ⑤ E-mail : rick@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇『Teaching American Culture in Japan using the Film Adaptation of "To Kill a Mockingbird"』(『金沢学院大学紀要』第9号.2010年) ◇『Using and Adapting Model Forums to Enhance Classroom Discussions』(『金沢学院大学紀要』第8号.2010年) ◇『Facilitating Team Teaching Using Moodle』(『金沢学院大学紀要』第6号.2008年) ◇『Demon Lake:夜叉が池 泉鏡花 作』北星堂2007年 ◇『Understanding the Mystery of the Bow: Demon Lake and Izumi Kyoka』SCLA学会2006年 ◇『ジーニアス和英辞典第2版』編集委員 大修館 2003年 ◇『Team Teaching with Moodle』(『金沢学院大学文学部紀要』第12巻 第1号2007年) ◇『The Many Voices of English』国際文化学科研究年誌 第10号 2003年 ◇『Language: The Basics/人間にとって言葉とは何か』編註 松柏社1998年 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①第二言語習得研究 ②インターネットで英語の勉強方法 ③比較文化と文学

(Kenji Ishizaki)

教授 石崎 建治 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 歴史学 I・II 古文書学演習 I 日本史演習 A(中世) 他
- ② 出身学校 : 早稲田大学
- ③ 学 位 : 文学修士(早稲田大学)
- ④ 所属学会 : 日本歴史学会 日本古文書学会 史学会 鎌倉遺文研究会 日本アーカイブス学会 他
- ⑤ E-mail : ishizaki@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「室町幕府徳政令発布時における札銭札物と分一銭の関係」(『古文書研究』第57号 2003年5月) ◇「織田信長『鱗』字型花押の含意」(『日本歴史』第664号 2003年9月) ◇「本能寺の変と上杉景勝」(『日本歴史』第685号、2005年6月) ◇「永享初年における足利義教政権の構造と特質」(『金沢学院大学文学部紀要』第5集、2000年3月) ◇「中世東国社会における永楽通宝選好性の一要因」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第6号 2008年3月) ◇「『謙信公御書集』の史的性格に関する一考察」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第8号 2010年3月) ◇「加賀藩士猪山直之日記(八)」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編第12号 2014年3月) ◇『加賀藩御算用者猪山直之日記』(時鐘舎 2010年10月) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①日本中世政治史(特に室町後期から戦国・織豊にかけての政治史) ②中世文書の古文書学的研究 ③日本中世社会における貨幣流通

(Yoshitaka Kojima)

教授 **小嶋 芳孝** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 考古学概説Ⅱ 考古学研究法Ⅱ 考古学演習Ⅰ 考古学  
と自然科学Ⅰ 古代学演習 総合歴史研究 他
- ② 出身学校 : 同志社大学文学部文化学科文化史学専攻
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 石川考古学研究会 北海道考古学会 日本文化財科学会  
日本遺跡学会 日本中国考古学会 古代学研究会 他
- ⑤ E-mail : y-kojima@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「日本海の島々と靺鞨・渤海の交流」『境界の日本史』山川出版社 ◇「渤海の仏教遺跡」『日本と渤海の古代史』山川出版社 ◇「能登の半島世界」『人とモノと道と』岩波書店 ◇「図們江流域の渤海都城と瓦当」『東アジアの都城と渤海』(財)東洋文庫 ◇「日本海対岸世界との交通」『日本海域歴史大系第一巻』清文堂 ◇「環日本海交流史の様相」『北東アジア交流史研究』塙書房 ◇「古代日本の境界領域と能登」『古代日本の異文化交流』勉誠出版 ◇「渤海平地城の検討」(『扶桑(田村晃一先生喜寿記念論文集)』)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①古代東北アジアにおける地域社会の形成史に関する研究 ②渤海考古学の研究 ③日本海沿岸地域の交流史に関する研究 ④加賀・能登の古代史に関する研究

(Nobuyoshi Shimizu)

教授 **清水 宣義**



- ① 担当科目 : 考古学概説Ⅰ 考古学研究法Ⅰ 考古学演習Ⅱ・Ⅲ 考古学  
学実習Ⅱ
- ② 出身学校 : 國學院大學大学院
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本考古学協会 情報考古学会 祭祀考古学会 国史学  
会 石川考古学研究会
- ⑤ E-mail : simizu@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「埋蔵文化財とGIS」金沢学院大学文化財学科文化財論考 vol.1 2001年 ◇「考古学におけるリモートセンシング」情報考古学 vol.8-1 2002年 ◇「考古学におけるGISの活用」情報考古学 vol.8-2 2002年 ◇「考古学における地理情報システムの活用について」金沢学院大学紀要第1号 2003年 ◇「史跡整備と活用」全国博物館学講座協議会研究紀要 vol.7 2003年 ◇「考古学における情報-情報の再検討と課題-」情報考古学 vol.9-1 2003年

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①考古学におけるGISおよびRemote Sensingの活用 ②考古学資料のデジタル化 ③宗教考古学、特に神道考古学関係

(Humiaki Higasiyotuyanagi)

教授 **東四柳 史明** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本史概説Ⅰ 文献資料研究法 日本宗教史Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 國学院大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 國史学会(評議員) 日本古文書学会(評議員) 地方史研究協議会(委員) 史学会 神道宗教学会 他
- ⑤ E-mail : higasiyo@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「長谷川信春と能登武士」(『長谷川等伯ふるさと調査事業報告書』北國新聞社 2012年) ◇「能登松波氏と松波城」(『松波城跡庭園跡調査報告書』能都町教育委員会 2011年) ◇『新修七尾市史』通史編1 原始・古代・中世(共著 七尾市 2011年) ◇『増訂函説白山信仰』(共著、白山比咩神社 2010年) ◇「能登守護畠山慶致考」(『地域社会の史料と人物』北國新聞社 2009年) ◇「畠山義元と能登永正の内乱」(『加能史料会報』第19号 2008年) ◇「中世加賀・能登の合戦と城館」(『石川県中世城館跡調査報告書Ⅲ』石川県教育委員会 2006年) ◇「能登守護畠山氏の成立をめぐって」 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①戦国大名能登畠山氏の研究 ②白山信仰史の基礎的研究 ③中世一宮と荘郷鎮守の研究

(Kazuo Mise)

教授 **見瀬 和雄** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本史概説Ⅱ、古文書学演習Ⅱ 日本史演習B(近世) 他
- ② 出身学校 : 金沢大学 國學院大学大学院文学研究科
- ③ 学 位 : 博士(歴史学)(國學院大學)
- ④ 所属学会 : 日本史研究会 国史学会(評議員) 歴史科学協議会 北陸史学会(常任委員) 歴史学研究会 他
- ⑤ E-mail : k-mise@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「近世統一政権の成立と越中古国府勝興寺」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編11号、2013年) ◇「『草莽危言』にみる中井竹山の朝鮮使節論」(『金沢学院大学紀要文学・美術・社会学編』第10号、2012年) ◇「近世能登の諸生産と海運—米・塩・素麵・炭—」(石川の歴史遺産セミナー講演録第12~14回『能登』石川県立歴史博物館、2012年) ◇「関ヶ原合戦前夜の北陸と前田利長—慶長五年九月五日付前田利長書状—」(佐藤孝之編『古文書の語る地方史』天野出版工房、2010年) ◇「草莽の志士小川幸三の加賀藩出仕」(『地域社会の史料と人物』北國新聞社、2009年) ◇『利家・利長・利常—前田三代の人と政治—』(単著)(北國新聞社、2002年) ◇『越中・能登と北陸街道』(共著)(吉川弘文館、2002年) ◇『幕藩制市場と藩財政』(単著)(巖南堂書店、1998年)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①近世初期北陸政治史の研究 ②前田利長の伝記的研究 ③近世日本海海運史の研究 ④加賀藩家臣団の研究

(Toshiko Asaki)

准教授 **朝木 敏子** 人文学研究科担当



- 日本語・日本文学基礎研究 日本文学史 I・II 日本文学  
 ① 担当科目 : 演習 II・VIII 日本語・日本文学特殊講義 II 日本文学講読 II 日本古典文学特論 II 国語科教育法 II 就職教養 II  
 ② 出身学校 : 東北大学 大谷大学大学院 龍谷大学大学院  
 ③ 学 位 : 博士 (文学)  
 中世文学会 説話文学会 仏教文学会 日本文藝研究会  
 ④ 所属学会 : 大谷大学国文学会 龍谷大学国文学会 北陸古典文学研究会  
 ⑤ E-mail : asakit@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇『徒然草というエククリチュール——随筆の生成と語り手たち——』(単著、清文堂 2003 年 11 月刊) ◇「記号から物語へ——『なぐさみ草』の挿絵——」(竹林舎、『中世の随筆——成立・展開と文体——』2014 年 5 月 (予定) ◇「市という宗教空間——『閑居友』空也説話をめぐって——」(勉誠出版、『京都学の企て』、2006 年 5 月) ◇「『徒然草』の近代——文学史記述をめぐって——」(龍谷大学仏教文化研究叢 19、『日本古典随筆の研究と資料』、2007 年 3 月) ◇「家——長明にみる「あらましの家」(勉誠出版、『京都学を楽しむ 古都をめぐる 33 の講座』、2010 年 7 月) ◇「『沙石集』の声——説話集に見る自己言及(セルフ・リファレンス)」(岩波『文学』3・4号&5・6号、2002 年 3 月・5 月) ◇「自律する挿絵——『なぐさみ草』にみる挿絵の世界」(『国語国文』第 80 巻第 11 号、2011 年 11 月) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

『徒然草』を中心とした《随筆》というジャンルならびにジャンル意識の生成を考える一方、その近世的展開に関心があります。特にその結節点としての絵入り注釈書である『なぐさみ草』を中心に、広く『徒然草』注釈書全般を研究しています。注釈書等に添えられた挿絵が、中古中世の物語絵の記号的な表現から脱し、さまざまな先行する物語を含みつつ自律的に広がっていくさまがおもしろいと思っています。また挿絵と文字テキストの相互的な関係から、絵画と物語の織りなす新たな言説空間の析出の方法を探っています。

(Kiwako Shitomi)

准教授 **蒨 際子** 人文学研究科担当



- 日本語・日本文学基礎研究 言語表現論 日本文学講読 IV  
 ① 担当科目 : 日本文学演習 V・VI 他  
 ② 出身学校 : お茶の水女子大学  
 ③ 学 位 : 文学修士  
 ④ 所属学会 : 日本近代文学会 日本文学協会 お茶の水女子大学国語国文学会  
 ⑤ E-mail : kiwako@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「水芦光子のミステリー小説—『贗』・『水の花火—加賀藩噴水考—』の周辺—」(『金沢学院大学文学部紀要文学・美術・社会学編』第 11 号 2013 年 3 月) ◇「宇野浩二の大患前兆期—「円本もれ事件」をめぐって—」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第 10 号 2012 年 3 月) ◇「一つのマリリン理解—曾野綾子『砂糖菓子が壊れるとき』」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第 8 号 2010 年 3 月) ◇「いかにして憎悪を消すか—曾野綾子『哀歌』」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第 5 号 2007 年 3 月) ◇「曾野綾子の転換—いわゆる『受容の時代』の一面—」(『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第 4 号 2006 年 3 月) ◇『日本女性文学大事典』(日本図書センター 2006 年 1 月 共著) ◇『日本現代小説大事典』(明治書院 2004 年 7 月 共著) ◇「同じ二つの顔—宇野浩二『高い山から』—」(淵叢の会『淵叢』第 10 号 2001 年 8 月) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①宇野浩二を視座とした日本文学研究 ②曾野綾子研究 ③水芦光子研究

(Tatsuya Terada)

准教授 **寺田 達也**



- ① 担当科目 : 日本語・日本文学基礎研究 日本文学講読Ⅲ 日本文学演習Ⅲ・Ⅳ コンピュータと日本文学 日本語表現法演習Ⅰ 他
- ② 出身学校 : 東京大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本近代文学会 日本文学協会 東京大学国語国文学会
- ⑤ E-mail : terada@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「新編浮雲」(『掘り出しものカタログ2 青春×小説』明治書院 2009年2月) ◇二葉亭四迷『其面影』論—《シムボリズム》の拒絶—(『国語と国文学』75巻1号 1998年1月) ◇習作「長編小説 無間奈落」論(『太宰治研究』10 和泉書院 2002年6月) ◇新現代文『学習指導の研究』単元「近代の文章」〈「たけくらべ」「金色夜叉」〉(筑摩書房 2004年3月) ◇川端康成「花のワルツ」試論—川端の舞踊評論の批評性と併せて—(『金沢学院大学紀要第3号』文学・美術編 2005年3月) ◇「沢木欣一」(『展望 現代の詩歌 俳句Ⅲ』明治書院 2007年7月) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

二葉亭四迷を中心とする明治文学、日本近代文学。また文学とその他の諸学問・諸芸術、歴史、社会との関係を検討し、外部から「文学」を捉え直すこと。

(Tomomi Terada)

准教授 **寺田 智美** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 日本語学概説Ⅰ・Ⅱ 日本語学演習Ⅰ・Ⅱ 日本語・日本文学 特殊講義Ⅶ 日本語教育学Ⅰ・Ⅱ 日本語教授法Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 早稲田大学教育学部
- ③ 学 位 : 修士(教育学)(早稲田大学)
- ④ 所属学会 : 日本語学会 社会言語科学会 日本文体論学会 日本語教育学会 他
- ⑤ E-mail : teradato@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇『厚生新編』翻刻とノート(1)「金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編」第10号(2012.3)

◇「高校留学生に対する日本語教育の問題と課題」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号(2011.3)) ◇「〈日本事情〉教材に描かれる〈日本〉」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号(2010.3)) ◇「翻刻『明治浮世風呂(二)』」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第6号(2008.3)) ◇『三省堂国語辞典第六版』(編集協力、三省堂、2008.1) ◇「夏目漱石の小説にみえる「相対女性語」の考察」(『紀要』16 早稲田大学日本語研究教育センター 2003.5) ◇「早稲田大学蔵『助詞考』二種の比較考察」(『早稲田大学図書館紀要』50、2003.3) ◇浜田真理子/寺田智美/初級教科書研究会編『日本語読解3』〈本文編/練習問題編/語彙集〉(共著 早稲田大学日本語研究教育センター 2002.4) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近代日本語、近世蘭学・蘭語学史、言語文化教育

(Takashi Nakazaki)

准教授 中崎 崇志



- ① 担当科目 : 社会コミュニケーション論 心理学 I 行動文化基礎演習 心理学  
研究法 心理学初級実験 実験行動心理学演習 他
- ② 出身学校 : 金沢大学社会環境科学研究科地域社会環境学専攻
- ③ 学 位 : 博士 (文学) (金沢大学)
- ④ 所属学会 : 北陸心理学会 日本動物心理学会
- ⑤ E-mail : nakazaki@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「意思決定過程研究へのオペラント変動性の視点の導入」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号 2011年) ◇「変動性研究の新しい方向性を探る:創造性,意思決定,動機づけとの関連」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号 2009年) ◇「行動変動性研究の展開と問題点」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第5号 2007年) ◇「学生支援推進プログラム 2009-2011 2011年度報告」(共著『金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編』第10号 2012) ◇「創造的学習モデルと学内創造性能力比較」(共著『金沢学院大学紀要 経営・経済・情報科学・自然科学編』第11号 2013) ◇「オペラント変動性をめぐる諸問題:研究の論点の展開」(『動物心理学研究』第50巻第1号 2000年) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 得済みの行動の遂行中に起こるエラーとその原因の分析 ② 同じ目的のために、行動のバリエーションをどれくらい持てるか ③ 注意の配分と、情報処理および行動調整の関係

(Hiroko Maekawa)

准教授 前川 浩子



- ① 担当科目 : 社会コミュニケーション論 心理学研究法 心理学初級実験  
応用心理学基礎 II 発達心理学演習 I・II 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学
- ③ 学 位 : 博士 (教育学)
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本教育心理学会 日本発達心理学会  
日本パーソナリティ心理学会 日本双生児研究学会 他
- ⑤ E-mail : maekawa@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「体重や体型へのこだわりに影響を及ぼす要因の検討—パーソナリティと社会的要因が出会うとき」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第11号、2013年3月) ◇「子ども期の仲間関係における対人関係能力の発達—親による双生児きょうだいの育て方と子どもの友達つきあいの観点から—」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第10号、2012年3月) ◇「神経性無食欲症の女性における対人不信に関する研究—きょうだいとの関係およびパーソナリティの観点から」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第9号、2011年3月) ◇「摂食障害に関連する非共有環境要因の検討—神経性無食欲症の女性はきょうだいと比較して経験をどのようにとらえているのか?」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第8号、2010年3月) ◇「身体計測の経験は青年期後期の体重や体型へのこだわりにどのような影響を与えるのか—身体計測の方法および身体計測に対する感想からの検討—」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第7号、2009年3月) ◇「双生児の自己—やせ願望と体型不満への認知」(『シリーズ自己心理学5』金子書房、2008年12月) ◇「発達精神病理学の応用:親の抑うつと家族関係、そして子どもの発達」(『発達精神病理学 子どもの精神病理の発達と家族関係』ミネルヴァ書房 分担翻訳(2006年12月) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 人間の行動や心理的形質における個人差 ② 女性のやせ願望と精神的健康 ③ きょうだい関係—双生児を中心として—

(Shinya Nakamura)

准教授 **中村 晋也**



- ① 担当科目 : プレゼミ I・II 保存科学概論 保存科学演習 A・B  
考古学と自然科学 I 保存科学特殊講義 他
- ② 出身学校 : 奈良大学文学部文化財学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 日本文化財科学会 文化財保存修復学会 (理事)
- ⑤ E-mail : nakamura@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇石川県内の古墳から出土した耳環の自然科学的研究(日本文化財科学会第30回大会:2013)◇能登半島地震における復興支援活動-被災資料の調査・修復から復興へ-(『文化財の保存と修復-災害から文化財をまもる-』2012年) ◇富山市百塚遺跡出土ガラス玉の科学的研究(『金沢学院大学紀要第9号』2011年) ◇ロシア沿海地方の渤海遺跡出土金属製品の材質分析と保存処理(『金沢学院大学紀要第7号』2009年) ◇金沢学院大学所蔵「春日鹿曼荼羅」の科学的研究(『金沢学院大学紀要第6号』2008年)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①埋蔵文化財の保存処理(主に出土木製品) ②文化財の材質・製作技法に関する研究(主に日本古代ガラス、金属製文化財) ③自然災害で被災した文化財の復興活動

(Koichi Otaki)

講師 **大滝 宏一** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 英語学概論 英文法概論 英語学演習 I・II  
フレッシュマン・イングリッシュ I・II 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学・コネチカット大学
- ③ 学 位 : 修士(教育学・言語学)
- ④ 所属学会 : 日本言語学会
- ⑤ E-mail : otaki@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「The Parameter of Argument Ellipsis: The view from Kaqchikel」(共著、『MIT Working Papers on Endangered and Less Familiar Languages 8』、2013年) ◇「Quantificational null objects in child Japanese」(共著、『Proceedings of the Fifth Formal Approaches to Japanese Linguistics (FAJL 5)』、2012年) ◇「Argument Ellipsis arising from non-fusional case morphology」(『Online Proceedings of GLOW in Asia Workshop for Young Scholars 2011』、2012年) ◇「Right node raising, plurality and multiple dominance」(『Proceedings of the Thirty-Ninth Western Conference on Linguistics (WECOL 2010)』、2011年) ◇「Noun Raising in child English」(『Selected Proceedings of the 4th Conference on Generative Approaches to Language Acquisition North America (GALANA 2010)』、2011年) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

「人間が話す言語にはどのような共通の基盤があるのか、一つ一つの言語はどのように異なっているのか、子どもはどのように言語を獲得するのか」といった問題を、主に英語と日本語に焦点を当てて研究中である。

(Hideki Nakamaru)

講師 仲丸 英起



- ① 担当科目 : 西洋史概説Ⅰ・Ⅱ 西洋史文献購読Ⅰ・Ⅱ 西洋史演習  
西洋史特殊講義 政治学概論 他
- ② 出身学校 : 慶應義塾大学
- ③ 学 位 : 博士(史学)
- ④ 所属学会 : 日本西洋史学会 歴史学研究会 イギリス革命史研究会  
近世イギリス史研究会
- ⑤ E-mail : nakamaru@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇『名誉としての議席——近世イングランドの議会と統治構造』(単著、慶應義塾大学出版会、2011年4月) ◇『ヘンリ8世の迷宮』(共著、昭和堂、2012年6月) ◇「近世イングランド下院議員による選挙区移動様態の時系列的変遷」(『西洋史学』第248号、2013年3月) ◇「ある下院議員の生涯——エリザベス期『ピューリタン』ピーター・ウェントワースの再検討」(『ピューリタニズム研究』第4号、2010年2月) ◇「近世イングランドにおける議会行進と礼拝式——エリザベス治世期を中心に」(『西洋史学』第233号、2009年6月) 「近世イングランド議会史像をめぐって——エリザベス治世期を中心に」(『歴史学研究』第845号、2008年10月) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

近世イングランド政治史研究。特に同時代においてイングランド各地から議会に選出されていた議員が、中央政府・地域社会・立候補者自身にとってどのような意味を有していたのかについて、プロソポグラフィーの手法を基盤として研究を進めている。

# 金沢学院大学 経営情報学部

学部長 田中 晴人

	教授	准教授	講師	助教
経営 ビジネス 学科	奥井めぐみ ○高橋 啓 田中 晴人 根本 博 森 浩一	大野 尚弘 小谷 学	福本 俊樹	
経営 システム 学科	四十木 守 阿手 雅博 石川 温 笠間 弘美 ○桑野 裕昭 中西 一夫	中村 直行	福田 裕一	

○：学科長

(五十音順)

(Megumi Okui)

教授 **奥井 めぐみ** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経済学の基礎 ミクロ経済学 マクロ経済学 金融論  
環境経済学 労働の諸問題 公共経済学特論 他
- ② 出身学校 : 大阪大学
- ③ 学 位 : 国際公共政策博士
- ④ 所属学会 : 日本経済学会 日本金融学会
- ⑤ E-mail : m-okui@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「専門職の都道府県間賃金格差に関する研究—男性大学教授と男性医師の都道府県別集計データを利用して—」◇「同一職種 of 都道府県間賃金格差に関する実証研究」金沢学院大学紀要第 11 号 (2013 年) ◇「管理職キャリアパスの日米独比較—日本の女性管理職比率低迷の原因を探る—」共著、金沢学院大学紀要第 10 号 (2012 年)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

日本の賃金格差

(Hiroshi Takahashi)

教授 **高橋 啓** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 日本の会社経営 国際経営 財務管理 I・II  
経営分析 他
- ② 出身学校 : 東北大学 法政大学大学院公共政策研究科
- ③ 学 位 : 博士 (公共政策学)
- ④ 所属学会 : 日本公共政策学会 医療経済学会 日本医療経営学会  
日本介護経営学会 医療マネジメント学会
- ⑤ E-mail : h-takaha@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「サステナブルな地域医療連携体制の構築に向けての課題」(唐澤克樹との共著)、2010 年 8 月、『サステナビリティ研究』Vol. 1、p149-162、法政大学サステナビリティ研究教育機構◇「日本における PFI 事業の歩みと今後の課題」2012 年 3 月『金沢学院大学紀要』第 10 号◇「自治体は公立病院をどのような視点で管理するべきか」2012 年 10 月『公益学研究』Vol. 12-1、p21-31◇「繊維産業政策の変遷～繊維工業から繊維・ファッション産業へ」、2013 年 2 月、『大原社会問題研究所雑誌』No. 652、p3-14◇「地域医療行政における自治体—公立病院間関係に関する考察」、2013 年 10 月、『法政大学大学院紀要』No. 71、p257-277◇「PFI/PPP 事業の新たな展開とその課題」、2014 年 3 月、『金沢学院大学紀要』No. 12、p93-102

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 医療機関の経営改善 ②地域経営の観点からみた官民連携事業 ③中小企業の国際化

(Haruto Tanaka)

教授 **田中 晴人** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営学基礎 経営管理論 経営組織論 経営学特論 特論演習 経営戦略特論 経営戦略研究
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 経済学修士
- ④ 所属学会 : 日本経営学会 組織学会 実践経営学会
- ⑤ E-mail : mtanaka@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「新時代の企業経営」同文館 1999年(共著) ◇「経営戦略概念の変化」(2003年 金沢学院大学紀要第3号) ◇「日本企業と戦略Ⅰ・Ⅱ」(金沢学院大学紀要第3号) ◇「全社戦略論から競争戦略論へ」(2005年 金沢学院大学紀要第3号) ◇「実践経営辞典」櫻門書房出版部 2007年(共著) ◇「経営資源についての一考察～リソース・ベースト・ビューとの関連で」(2008年 金沢学院大学紀要第6号) ◇「経営戦略論における経営資源の問題について」(2009年金沢学院大学紀要第7号) ◇「資源ベース・アプローチの意義と問題点」(2011年金沢学院大学紀要第9号) ◇「経営資源の諸概念と『アクティブな経営能力』について」(2012年金沢学院大学紀要第10号)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 経営管理に関する理論的・実証的研究
- ② 地域中堅企業における経営戦略に関する実証的研究

(Hiroshi Nemoto)

教授 **根本 博** 経営情報学研究科(M・D)担当



- 中小企業論 日本経済論 スポーツボランティア論 基礎演習 演習 財政学特論 日本経済特論 特論演習 他
- ① 担当科目 : 基礎演習 演習 財政学特論 日本経済特論 特論演習 他
- ② 出身学校 : 東京大学
- ③ 学 位 : 経済学士
- ④ 所属学会 : 景気循環学会 日本NPO学会
- ⑤ E-mail : nemoto@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇編著：『ボランティア経済と企業』（日本評論社 2002年）

◇論文：「拡大するボランティア経済学の領域」（2014）、「民意とは何かー政治の論理と経済学の論理」（2013）、「少子高齢社会における先送り財政のリスクについて」（2012）、「政府の論理と非営利活動の役割」（2011）、「地価動向から見た北陸経済の現状と将来展望」（2008）、「争点としての格差問題と財政規律のあり方」（2007）、「民間資金の活用による都市・文化の再生」（2006）、「マクロ経済バランスの改善を通じた日本経済の再生」（2004）、「高度成長の評価」（1975）など。◇平成3・4年『地域経済レポート』（経済企画庁）の執筆責任者。

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 市場経済を補完するボランティア経済の役割 ②教育格差、男女格差、地域格差などの格差問題 ③財政を中心とした日本経済の今後の課題

(Kouichi Mori)

教授 **森 浩一** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 税の基礎 商法
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 学士 (経済学)
- ④ 所属学会 : 日本租税訴訟学会
- ⑤ E-mail : k-mori@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇「国税収納金整理資金法の解説 (一、二、三)」(会計と監査 1983 年)
- ◇「税務行政と国家賠償」(税大ジャーナル 2011 年)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 消費税法 ② 行政法と税務行政

(Mamoru Aiki)

教授 **四十木 守** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 情報ネットワーク論 暗号とセキュリティ 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 工学博士 (豊橋技術科学大学)
- ④ 所属学会 : 電子情報通信学会 IEEE
- ⑤ E-mail : aiki@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇Makoto Murakami, Tetsuo Takahashi, Masaharu Aoyama, Takamasa Imai, Masaki Amemiya, Masatoyo Sumida and Mamoru Aiki, "System Performance Evaluation of the FSA Submarine Optical Amplifier System," IEEE Journal of Lightwave Technology December 1996
- ◇雨宮、四十木、河西、“ギガビット海底光中継伝送方式(FS-1.8G)の設計と特性”、電子情報通信学会論文誌 B-I, Vol. J77-B-I, No. 5, pp. 366-376 1994 年 5 月 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① テラビットネットワークにおける知的情報処理 ② 情報通信ネットワークの信頼性と発展形態 ③ ネットワーク社会におけるライフスタイル

(Atushi Ishikawa)

教授 **石川 温** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : コンピュータ活用演習 情報処理演習 I インターネット情報活用演習 情報処理基礎演習  
② 出身学校 : 大阪大学大学院  
③ 学 位 : 博士 (理学)  
④ 所属学会 : 日本物理学会  
⑤ E-mail : ishikawa@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇Analytical derivation of power laws in firm size variables from Gibrat's law and quasi-inversion symmetry: A geomorphological approach :  
J. Phys. Soc. Jpn. 83 (2014) 034802.  
◇The emergence of different tail exponents in the distributions of firm size variables :  
Physica A 392 (2013) 2014 - 2113.  
◇Power Laws in Firm Productivity : Prog. Theor. Phys. Supple. No. 194 (2012) 122 - 134.  
◇メガ企業の生産関数の形状 -分析手法と応用例- :  
経済研究 第62巻 第3号 2011年7月 193 - 208.

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 経済物理学

(Hiromi Kasama)

教授 **笠間 弘美**



- ① 担当科目 : 英語 I・II ビジネス英語 I・II 総合英語 I・II  
② 出身学校 : 龍谷大学  
③ 学 位 : MATESL  
④ 所属学会 : 日本マンスフィールド協会 大学英語教育学会 日本英語教育史学会 日本ニュージブラント学会  
⑤ E-mail : kasama@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇『マンスフィールド事典』(共著)文化書房博文社 2007年10月 ◇「キャサリン・マンスフィールドの「前奏曲」と「入江のほとり」で使われる基本色彩語に関する比較考察」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編 第11号 2013年3月 ◇「マンスフィールドの「Prelude」における文体分析: 「with句(構文)」の用法に焦点を当てて」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編 第9号 2011年3月 ◇「マンスフィールドの短編における文体-「with句(構文)」の用法に焦点を当てて-」『マンスフィールド研究』第8号 日本マンスフィールド協会 2009年10月 ◇「コーパス処理による基本色彩語分析に見るマンスフィールド作品の特徴-マンスフィールド研究とコーパスの利用に関する一考察-」『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編 第6号 2008年3月 ◇「“The Wind Blows”におけるキャサリン・マンスフィールドの文体-コーパス処理に基づくテキスト構成語彙分析を加えて-」同上第5号 2007年3月 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①コーパス処理に基づく文学作品の文体研究 ②経済英語・貿易英語 ③語彙、語法からみた英語教科書の国際比較

(Hiroaki Kuwano)

教授 **桑野 裕昭** 経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 経営統計 経営統計演習 マネジメント・サイエンス マーケティング・リサーチ マーケティング・リサーチ演習 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 博士 (工学) 金沢大学
- ④ 所属学会 : 日本オペレーションズ・リサーチ学会 日本数学会 日本知能情報ファジィ学会
- ⑤ E-mail : kuwano@kanazawa-gu. ac. jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇研究室配属問題へのファジィ数理計画法の適用, 近畿大学商経学会商経学叢第 58 巻第 3 号, pp. 45-54, 2013 ◇ある離散構造へのファジィ数理計画法の適用について, 「不確実・不確定環境下における数理的意思決定とその周辺」RIMS 講究録 1802, pp. 6-12, 2012 ◇Concepts of generalized concavity based on aggregation functions, Fuzzy Sets and Systems, Vol.198, pp.112-127, 2012 ◇集計関数を用いた準凹関数の一般化, 日本オペレーションズ・リサーチ学会秋季研究発表会アブストラクト集, pp. 76-7, 2010◇凹性の一般化とファジィ数理計画問題への応用, 第 26 回ファジィシステムシンポジウム講演論文集, pp260-265, 2010 ◇On a generalization of concavity by Some aggregation functions, 5<sup>th</sup> International Workshop or Computational Intelligence and Applications, pp274-277, 2009、 ◇A Generalized Fuzzy Ordering for Multidimensional Vague Sets, Sino-Japanese Optimization Meeting, 2008

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①人間の曖昧な認識に基づく情報環境での意思決定 ②意思決定にかかわる諸問題のモデル化とその分析 ③遺伝子解析手法の開発

(Kazuo Nakanishi)

教授 **中西 一夫** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : プログラミング基礎 応用プログラミングⅡ 大学とは 情報処理基礎演習 他
- ② 出身学校 : 東北大学
- ③ 学 位 : 理学博士
- ④ 所属学会 : 日本物理学会
- ⑤ E-mail : nakanish@kanazawa-gu. ac. jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇Mean Field Theory for a Spin Glass Model of Neural Networks; J. Phys. A Vol.30(1997)  
◇ Structural Phase Transitions in Layered Transition Metal Compounds, ed K. Motizuki (Reidel, Dordrecht 1986) pp.175-266  
◇Effect of Magnetic Impurities on Itinerant Antiferro.; J. Phys. Soc. Jpn. Vol.42(1977)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①e-Learning の研究 ②ニューラルネットワークの研究 ③磁性の理論的研究

(Takahiro Oono)

准教授

**大野 尚弘**

経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : マーケティング論 消費者行動論 流通論 マーケティング特論
- ② 出身学校 : 神戸大学大学院経営学研究科
- ③ 学 位 : 商学修士
- ④ 所属学会 : 日本商業学会 日本消費者行動研究学会 現代経営学会
- ⑤ E-mail : oono@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇「プライベートブランド商品の展開と小売改革の方向性」高嶋克義編『小売革新』千倉書房、2010年 ◇『PB戦略—その構造のダイナミクス—』千倉書房、2010年
- ◇「有力メーカーによる小売ブランド生産の必要性和受託動機」『金沢学院大学紀要』第12号、2014年

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 通企業によるPB開発の歴史とその戦略についての研究 ②PB商品の高級化とその必要性についての研究

(Manabu Kotani)

准教授

**小谷 学**

経営情報学研究科(M・D)担当



- ① 担当科目 : 会計学基礎 財務会計 簿記会計 他
- ② 出身学校 : 神戸大学大学院経営学研究科
- ③ 学 位 : 博士(経営学)
- ④ 所属学会 : 日本会計研究学会 日本ファイナンス学会
- ⑤ E-mail : kotani@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇「会計基準の形成過程に対する株価反応の実証分析」博士学位請求論文、2010年 ◇「金融商品取引法における開示制度の有効性—大量保有報告制度の実証分析—」(音川和久氏との共著)、『産業経理』第69巻(第4号)、63-74頁、2010年 ◇「特別損失の計上頻度と将来業績の関連性」(北川教央氏との共著)、『国民経済雑誌』第206巻(第6号)、29-47頁、2012年

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- 不確実性下における意思決定と情報の役割に関する研究  
アナリスト予想と会計情報の関係に関する研究

(Naoyuki Nakamura)

准教授 **中村 直行** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : コンピュータ活用演習 情報処理演習 I 基礎ゼミ 情報倫理特論  
② 出身学校 : 金沢大学大学院  
③ 学 位 : 博士 (文学)  
④ 所属学会 : 日本科学哲学会 応用哲学会 中部哲学会 日本現象学会  
⑤ E-mail : nao-naka@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇ (単著・論文:2012) 「<語り得ぬもの>の語り得なさ」、金沢大学『哲学・人間学論叢』第3号  
◇ (単著・招待論文:2011) 「最小合理性とは -MINIMAL RATIONALITY (1986)とその後の進展-」、中部哲学会編『中部哲学会年報』42号◇ (単著・論文:2011) 「Gödelの第二不完全性定理の証明における背理法適用への批判」金沢大学『哲学・人間学論叢』第2号◇ (単著・論文:2009) 「現実的な合理性とは何か?— チャーニアク哲学の紹介 —」、比較思想学会『比較思想研究』第35号別冊◇ (共訳・訳本:2009) 双書 現代哲学7『最小合理性』第1章・第2章 (pp. 3-76) 「訳者解説」 (pp. 239-263) ◇ (博士論文:2006) 「沈黙すべき<語り得ぬもの>とは何か?— 『論考』の峰と山脈を追いかけて—」◇ (単著・論文:2005) 「ウィトゲンシュタインはメタ言語を認めずに使用していたのか?」金沢大学大学院 社会環境科学研究科『社会環境研究』第10号◇ (単著・論文:2002) 「仮言命題等に関する提唱についての考察—Principia Mathematicaを超えて—」中部哲学会編『中部哲学会年報』第34号

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 通信プロトコルに対してメタ言語としての日本語から言及するための助詞の用法  
② の情報を読み解くリテラシーの研究

(Toshiki Fukumoto)

講師 **福本 俊樹**



- ① 担当科目 : 経営管理論・経営学基礎・プレゼミ  
② 出身学校 : 神戸大学大学院経営学研究科  
③ 学 位 : 経営学修士  
④ 所属学会 : 経営学史学会・組織学会・日本情報経営学会  
⑤ E-mail : fukumoto@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇ 「組織行動論へのレジリエンス概念の導入—マルチ・レベルで捉えるレジリエンス研究—」(共著) (2014年, 『神戸大学大学院経営学研究科ディスカッション・ペーパー』). ◇ 「組織社会化研究の新展開—組織における自己の記述形式を巡って—」(2013年, 『経営学史学会編 第二十輯 経営学の貢献と反省—二十一世紀を見据えて—』, 138-149頁). ◇ 「組織社会化概念の再定位」(2011年, 『神戸大学大学院経営学研究科大学院生ワーキングペーパー』, 201112a).

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 新人・若手従業員の組織適応を図る管理戦術の検討  
② 組織参加と自己アイデンティティの構成  
③ 営実務と積極的に関わり合う経営学研究のあり方

(Hirokatsu Fukuda)

講師 **福田 裕一**



- ① 担当科目 : 経営システム論Ⅰ・Ⅱ 情報技術基礎Ⅰ・Ⅱ システム設計Ⅰ・Ⅱ 情報システム分析Ⅰ・Ⅱ 情報処理演習Ⅱ
- ② 出身学校 : 金沢学院大学大学院
- ③ 学 位 : 修士 (経営情報学)
- ④ 所属学会 : プロジェクトマネジメント学会 日本経営工学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会
- ⑤ E-mail : h-fukuda@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「ロータスノート R4J のすべて」アスキー出版局 1996年 ◇「ロータスノートエンサイクロペディア(システム管理者編)」アスキー出版局 1996年 ◇「ロータスノート エンサイクロペディア (インターネット/イントラネット編)」アスキー出版局 1998年

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

プロジェクトにおけるリスクマネジメントの研究

# 金沢学院大学 美術文化学部

学部長 飯田 栄治

	教授	准教授	講師	助教
美術学科	○市島 桜魚 武腰 敏昭 中路 融人 西田 伸一 丹羽 俊夫 馬場先 恵子 平木 孝志 前 史雄	児島 新太郎 羽場 文彦		
メディアデザイン学科	○飯田 栄治 大場 吉美 岡田 政則 高田 伸彦 棒田 邦夫	越田 久文	吉田 一誠	

○：学科長

(五十音順)

(Ougyo Ichishima)

教授 **市島 桜魚**



- ① 担当科目 : 漆芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 美術表現法 絵画工芸基礎 他
- ② 出身学校 : 石川県立金沢二水高等学校
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 : 社団法人日本工芸会
- ⑤ E-mail : ougyo@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇1990 第37回日本伝統工芸展 優秀賞(NHK会長賞)蒔絵「秋の野」小箆笥 ◇1992 第39回日本伝統工芸展 優秀賞(朝日新聞社賞)平文「星螢」重ね箱 ◇1993 第10回日本伝統漆芸展 蒔絵「盛秋」八角箱 紀文美術館買上げ、ステッセルのピアノ復元における蒔絵制作 ◇1994 第50回石川県現代美術展 最高賞(技術賞)および50周年記念美術文化大賞 蒔絵「渦波」箱 ◇1995 第12回日本伝統漆芸展 蒔絵「宙」箱 宮内庁買上げ  
◇1996 第13回日本伝統漆芸展 蒔絵「閃光」八角箱 国際国流基金買上げ ◇1998 第54回石川県現代美術展 委嘱賞 蒔絵「円」色紙箱 金沢市買上げ ◇1999 名古屋、'01 '06 '10 東京、'08 金沢にて個展

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①「平文」および「引っかき」の技法による表現の可能性 ②用の美—日常と非日常— ③「漆芸・漆器、漆を塗る」がイコール「japan」であることの意味

(Tosiaki Takegosi)

教授 **武腰 敏昭**



- ① 担当科目 : 陶芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 陶芸表現法 美術作家論 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 日展 石川県美術文化協会 石川県陶芸協会
- ⑤ E-mail : takegosi@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇文化庁主催 第19回 日本県展選抜展に於いて文部大臣賞受賞 作品「クレオパトラ」 ◇第7回日工会展に於いて内閣総理大臣賞受賞 作品「春來たるらし」 ◇第33回 日展に於いて内閣総理大臣賞受賞 作品「静寂」 ◇小松製作所 新研究所エントランスホール壁面モザイク「未来」制作 ◇富士通総合センター壁面モザイク「拓く」制作 ◇寺井町泉台に日本最大のビッグモニュメント・「甕」世紀をこえて・制作 ◇第66回日本藝術院賞受賞「湖畔」彩釉花器

※日本芸術院会員

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① 体造形 ②環境造形 ③色絵全般 ④無鉛釉薬 ⑤美術工芸論

(Yujin Nakaji)

教授 中路 融人



- ① 担当科目 : 美術作家論
- ② 出身学校 : 京都市立日吉ヶ丘高等学校日本画科
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 : 日展 京都日本画家協会 晨鳥社
- ⑤ E-mail : nakaji@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇新現代日本画家素描集「中路融人—湖北賛歌」刊行(日本放送出版協会)1992
- ◇第18回日展「爛漫」文化庁買上
- ◇第27回日展「輝」文化大臣賞
- ◇第28回日展「映象」第53回日本芸術院賞

※日本芸術院会員

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

(Shinichi Nishida)

教授 西田 伸一



- ① 担当科目 : 洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 地域美術史 洋画表現法 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 光風会会員・理事 日展会員 日本美術家連盟会員
- ⑤ E-mail : nishida@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇1990 光風会展光風奨励賞「刻・SARA」 ◇1992 日展初入選「刻・N氏の家族」
- ◇1993 光風会展光風奨励賞「刻・1993の肖像」 ◇1998 光風会展会友賞「刻・遠い風」
- ◇2001 光風会展会員賞「刻・刻・刻」 ◇2003 日展特選「刻・遠いみち」
- ◇2004 光風会展会員賞「刻・遠い季節」 ◇2005 光風会展会員賞「白い刻・Ⅰ」
- ◇2007 日展特選「思秋」 ◇2012 現代美術展委嘱賞「爽」
- ◇2012 光風会展文部科学大臣賞「風の季節に」

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

油彩・アクリルによる人物を通しての写実絵画

(Toshio Niwa)

教授 **丹羽 俊夫**



- ① 担当科目 : 模写演習 地域美術史 文学Ⅱ 人間と哲学Ⅰ・Ⅱ  
教育学 ファッションドローイング 地域文化論
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 新日本美術院会長 日創会会長
- ⑤ E-mail : niwa@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇1982 外務大臣賞(第18回亜細現代美術展)◇1984 石川県能楽文化会館別館能舞台鏡板絵制作◇「昭和58年度芸術文化に活躍された人々の懇談のつどい」内閣総理大臣主催園遊会招待◇1985 安田火災美術財団奨励賞◇1987 国際芸術文化賞(日本文化振興会)◇1989 文部大臣奨励賞(第25回亜細現代展)◇1997 新日本美術院作家大賞(第29回神院展)◇1998 石川県松任市(現白山市)新庁舎壁画制作◇2005 北國新聞社赤羽ホール「金沢大観図屏風」六曲一双制作◇2009 第63回北國文化賞◇2010 文部科学大臣教育功労賞

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 日本絵画思想の表現と技法 ② 日本美術文化思想の技と美

(Keiko Babasaki)

教授 **馬場先 恵子** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 美術文化演習 歴史都市論 都市美文化論 プレゼンテーション法 地誌 美術と社会 他
- ② 出身学校 : 大阪大学
- ③ 学 位 : 学術博士(金沢大学)
- ④ 所属学会 : 土木学会 日本都市計画学会 日本建築学会
- ⑤ E-mail : babasaki@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

#### 主要論文題目

◇金沢市における橋から見た惣構堀・用水の規模の変遷 ◇金沢城下における町人の外出行動の空間特性 ◇金沢城下の広見の起源と配置について ◇地域の伝統芸能の継承活動の実態と課題 ◇金沢市における子どもを対象としたまちづくり学習の現状と課題 ◇みち空間におけるアメニティ向上のための環境整備計画に関する研究 ◇歴史的町並み景観における建物正面意匠の連続性 ◇万葉集から読み取る越中の景観特性

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 風土・歴史的文脈を背景とした都市景観整備方策の検討 ② 文化遺産の保存と活用施策の検討  
③ 住民参加のまちづくり推進のための社会システムの構築

(Takashi Hiraki)

教授 **平木 孝志**



- 日本美術史 東洋美術史 模写演習 茶道入門 卒業研
- ① 担当科目 : 究 日本画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 日本画表現法 ふるさと文化 日本伝統文化
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : (社)日展 (財)石川県美術文化協会 石川県茶道協会  
茶の湯文化学会 美術史学会 儀・禮文化学会
- ⑤ E-mail : t-hiraki@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇日展・日春展・現代美術展 他 入選受賞多数 ◇新潟県長瀬神社天井画 91 枚・絵馬 4 枚制作  
◇源氏物語香函帳制作 ◇石屋能舞台制作 ◇法華宗本因寺天井画 40 枚・龍図 1 面制作

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①現代日本画制作 ②伝統絵画の技法と復元の研究 ③石川県の伝統文化の研究 ④加賀藩の茶道美術 ⑤文房四宝に関する研究

(Humio Mae)

教授 **前 史雄**



- ① 担当科目 : 美術作家論
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : (社)日本工芸会正会員・参与
- ⑤ E-mail :

### I. 主な研究業績・作品等

◇漆芸の加飾法で沈金技法を習熟し日本伝統工芸展など作品を発表

※重要無形文化財保持者 (人間国宝)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

沈金技法の研究 (沈金刀の工夫) と現代の生活に即した漆芸品の制作

(Eiji Iida)

教授 **飯田 栄治** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : デザイン論 情報数学 数学 I プログラミング I ソフトウェア基礎論 インタラクティブシステム ゲームデザイン II 他
- ② 出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科
- ③ 学 位 : 情報科学博士
- ④ 所属学会 : 電子情報通信学会 情報処理学会 日本認知科学会 人工知能学会 日本シミュレーション学会
- ⑤ E-mail : e-iida@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

- ◇各種（航空機、自動車等の）シミュレータの開発
- ◇“人間の持つ解決戦略を利用した問題解決システム” 情報処理学会、第6回数理モデルと問題解決のシンポジウム論文集 2000.3 ◇“ $N^2-1$ パズルのスケールダウン解法” 電子情報通信学会和文論文誌 1998.7 ◇“A system to Perform Human Problem Solving” The 5<sup>th</sup> International Conference on Soft Computing and Information / Intelligence Systems, 1998.10 ◇メッセージプロジェクション システム 出展 愛知万博 2005.5 ◇“メッセージプロジェクション装置の制作とその効果について” エンタテインメントコンピューティング 2005.9 ◇金沢城辰巳櫓 3DCG 制作(2007、石川県、北國総研) 金沢市内小学校 DVD 配布 ◇“電子掛け軸” エンタテインメントコンピューティング 2008.9 (金沢 21 世紀美術館) ◇“「かげおくり」システム デモ エンタテインメントコンピューティング” 2009.9 (東京大学) 他

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

デジタルアート及びバーチャルリアリティシステムの研究

(Yoshimi Oba)

教授 **大場 吉美** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : デザイン概論 I・II デザインマネジメント I・II タペグラフィック デザイン演習 II デザイン論 II 視覚伝達論 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学士
- ④ 所属学会 : 日本デザイン学会 美術団体一陽会 ニューヨークアートディレクターズクラブ
- ⑤ E-mail : oba@kanazawa-gu.ac.jp

## I. 主な研究業績・作品等

- ◇空間構成と仮設空間について（平成6年、金沢女子大学経営情報研究所紀要第1号）論説 地域のデザイン活動とデザイン力についての考察（平成9年、金沢学院大学経営情報学部紀要第3巻第1号）論文、囲まれた男（平成15年、金沢学院大学紀要文学・芸術編第1号）論説。大型空間のディスプレイデザイン（平成19年、日本デザイン学会デザイン研究作品集12）論文。金沢市の文化戦略・伝統文化と現代文化の調和（平成19年 NIRA 総合研究開発機構、政策ケーススタディ研究）論文。論文・工芸家と造形家における創造行為の論考（平成21年、金沢学院大学紀要・文学・美術・社会学編） ◇食と緑の博覧会テーマ館デザイン（昭和63年、農林水産省、石川県）、第22回全国菓子大博覧会テーマ館デザイン（平成6年、石川県、金沢市他）、国際色絵陶磁器フェア小松ドームプロデューサー（平成9年）、金沢駅東ドーム空間の演出デザイン（平成17年） ◇金沢市冬まつり（平成7年～16年）、石川秋の芸術祭などの劇場空間演出、文化庁芸術祭「いしかわの四季」ファッションパフォーマンス作・演出・構成（平成9年）、「第10回全国農業青年交換大会記念行事」企画演出プロデュース（平成10年）、第13回全国スポレク祭企画アドバイザー（平成12年）、「夢マンダラ」ファッションパフォーマンス企画・演出プロデュース（平成15年）、第23回全国健康福祉祭いしかわ大会基本構想策定委員（平成22年）

## II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①地域におけるデザイン及びデザイナーの役割 ②伝統的美意識に対する現代的な美意識の融合のあり方と方法 ③現代美術と変容する社会の相関について

(Masanori Okada)

教授 **岡田 政則** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : *メディアデザイン論 I* コンピュータ基礎演習 I・II プログラミング  
II データベース論 I・II 他
- ② 出身学校 : 北陸先端科学技術大学院大学
- ③ 学 位 : 博士 (情報科学)
- ④ 所属学会 : 情報処理学会
- ⑤ E-mail : okada@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇創造性増進カリキュラムとその予備実験, 共著, 平成 24 年 10 月, 日本創造学会第 34 回研究大会予稿集◇本学学生支援推進プログラム 2009-2011 の概要, 2011 年度報告, 単著, 平成 24 年 3 月, 金沢学院大学紀要 10 号 ◇創造性増進カリキュラムとその予備実験, 共著, 平成 24 年 10 月, 日本創造学会第 34 回研究大会予稿集 ◇Educational environments that incentivize experience, 単著, 平成 23 年 10 月, KICSS2011◇経験を報奨する教育環境, 単著, 平成 23 年 7 月, 情報処理学会研究報告 CE-110◇本学学生支援推進プログラム 2009-2011 の概要:2010 年度報告, 単著, 平成 23 年 3 月, 金沢学院大学紀要 第 9 号◇Encouraging Extracurricular Activities in the Educational Environment, 共著

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① e ラーニング ②情報理論

(Nobuhiko Takada)

教授 **高田 伸彦** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : *メディアデザイン論* 情報技術基礎 I・II コンピュータネットワーク演習  
I・II コンピュータ・アーキテクチャ コンピュータネットワーク論 他
- ② 出身学校 : 名古屋大学
- ③ 学 位 : 工学士
- ④ 所属学会 : 電子情報通信学会 情報処理学会 教育システム情報学会 芸術科学会
- ⑤ E-mail : ntakada@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇Web デザイナー育成のための基礎知識 能登印刷 2011 年 ◇JICA-Net Network Engineer SSC 2010 年 ◇情報セキュリティ教科書 2010 年(東京電機大学出版) ◇JICA-Net Network Expert PADECO 2009 年 ◇ソフトウェア開発技術者 実教出版 2008 年 ◇The Development of Haiku Application to Compose Haiku Poems with Smartphone outdoors, Site 2013 ◇Construction of a New User Experience Support Environmental System for Haiku with Smartphone, Site 2012 ◇俳句創作環境における多機能携帯端末の AR の活用, Nicograph 2011 ◇連句の 3DCG アニメーションによる表現とその評価 JSiSE Reserch Report vol23, no.2(2008)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 多機能情報端末におけるマルチメディア技術の研究 ②Web 上におけるアニメーション・コミックの研究 ③Web 上におけるゲームの研究

(Kunio Bouda)

教授 **棒田 邦夫**



- ① 担当科目 : デザイン論Ⅱ CG 演習Ⅰ・Ⅱ マルチメディア演習Ⅰ・Ⅱ  
DTPデザイン デザイン演習Ⅳ 人間工学 他
- ② 出身学校 : 愛知県立芸術大学大学院
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 日本インテリア学会 日本映像学会
- ⑤ E-mail : bouda@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇映像とデザイン-映像表現に求められるデザインの役割-(金沢学院大学紀要文学・美術編第1号) ◇木構造でつくる音楽室の遮音(日本インテリア学会第14回大会研究発表梗概集) ◇木構造でつくる音楽室の遮音-高低音域と通常在来の比較-(日本インテリア学会第15回大会研究発表梗概集) ◇映像とデザイン-映像編集でみせる CG とモーションキャプチャー-(金沢学院大学紀要文学・美術編第2号) ◇今日の映像に影響を与えたメリエスの表現技術の考察(金沢学院大学紀要文学・美術編第3号) ◇映画の映像表現と社会性(金沢学院大学紀要文学・美術編第4号)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①CGによる視覚表現 ②映像表現に求められるCG技術 ③行動心理に現れるレイアウト

(Shintaro Kojima)

准教授 **児島 新太郎**



- ① 担当科目 : 洋画Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 絵画演習 絵画工芸基礎 近代美術史 洋画表現法 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学大学院
- ③ 学 位 : 修士(芸術)
- ④ 所属学会 : 日展 光風会
- ⑤ E-mail : s-kojima@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

第29回日展入選(以後'99/'01~'09)、第94回光風会展光風会員賞受賞作品「展葉」、第41回金沢美術工芸大学修了作品金沢市買い上げ作品「永遠」、第24回損保ジャパン美術財団奨励賞展出品 作品「記憶の肖像」、LIONCEAUX 現代洋画の俊英たち展出品(以後毎年)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① 油彩技法による平面造形 ② 永続性に対する考察の絵画的表現

(Fumihiko Haba)

准教授 **羽場 文彦**



- ① 担当科目 : 陶芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 工芸演習 絵画工芸基礎 美術表  
現法 現代美術史 他
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : fumihaba@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇第7回国際陶磁器美濃入選 ◇第43回朝日陶芸展入選 ◇2005 2006年個展(東京・銀座) ◇  
第64回金沢市工芸展(金沢市長奨励賞) ◇2011年 個展(東京・銀座) 第67回 現代美術展(美  
術文化特別賞) 2009. 2010. 2011. 2012. 2014年個展(東京・神宮前) 2013 個展(東京・京橋)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①土のもつ可能性をひき出した立体制作 ②内部空間を意識した立体表現 ③ギャラリー等での  
作品発表 ④シルクスクリーンを使用した技術の展開

(Hisafumi Koshida)

准教授 **越田 久文**



- ① 担当科目 : デザイン論Ⅱ Web デザイン 映像メディア表現演習  
Web 基礎、ムービー・タイポグラフィ、アニメーション演習Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 北九州市立大学 中退 専攻: メディア学
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : koshida@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇卒業研究主要テーマ: ブロードキャスト(放送)とインターネットの補完性  
・視聴者参加番組のリアルタイム投票・集計システム設計  
・ECサイト「金沢屋」設計・開発

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① 上デジタル放送時代における、ネットと放送の融合

(Issei Yoshida)

講師 **吉田 一誠**



- ① 担当科目 : デジタル表現基礎 情報学概論 デザイン論 I CG 演習  
III・IV プレゼンテーション演習 映像論 ゲームデザイン I 他
- ② 出身学校 : ロンドン大学ゴールドスミス・カレッジ
- ③ 学 位 : BA Fine Art, MA Fine Art, MA Digital Media
- ④ 所属学会 : アメリカ・コンピュータ学会コンピュータグラフィック  
ス分科会 (ACM/SIGGRAPH)、日本写真学会
- ⑤ E-mail : i-yosida@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇2000年「RePlay」展 (シンガポール)、2002年「Show」展 (イギリス) 出品、「国際ビデオアート展・秋葉原 TV-3」(東京)、2003年「STORM」展 (シンガポール) 出品、2006年「Cloudy」展 (イギリス) 出品、2007年「Photo Exchange」展 (イギリス) 出品、2008年「The Gloaming」展 (シンガポール)、2009年「トゥース・トラベルアワード」(イギリス) 出品。

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①芸術を通して考える「人間の未来に負う責任と可能性」 ②1851年第一回万博覧会会場「水晶宮」が以後の社会と芸術にもたらした影響 ③3D立体映像の歴史とその芸術表現の可能性 ④19世紀イギリスの絵入り新聞に覽る視覚情報文化の伝播

# 金沢学院大学 スポーツ健康学部

学部長 平井 敦夫

	教授	准教授	講師	助教
スポーツ健康学科	井篁 敬	鈴木 庸雄	高木 香代子	山脇 あゆみ
	西川 友之	福井 卓也	春名 亮	
	西川 峯高	丸山 章子	渡辺 直勇	
	平井 敦夫			
	平下 政美			
	古澤 治司			
	村上 清史			
	○渡辺 涼子			

○：学科長

(五十音順)

(Takashi Ino)

教授 **井 筧 敬** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : スポーツ心理学 スポーツ測定評価 スポーツ実技(陸上) スポーツ実技(テニス・バドミントン) 他
- ② 出身学校 : 筑波大学体育専門学群
- ③ 学 位 : 体育学修士(筑波大学大学院)
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本スポーツ心理学会 日本体育測定評価学会 日本ゴルフ学会 スポーツビジョン研究会
- ⑤ E-mail : inou@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇考えて強くなるソフトテニススタートデザイン 大修館書店 2008 ◇ロンドン五輪報告、金沢学院大学スポーツ健康学部論文集 vol.2、2012 ◇NHK スペシャル MIRACLE BODY「第2回内村航平 驚異の空中感覚」、2012.7.15 On Air ◇トランポリン選手の注意様式に関する研究、金沢学院大学紀要第12号—経営・経済・情報・自然科学編、2014 ◇陸上競技選手の心理的競技能力に関する研究、金沢学院大学紀要第12号経営・経済・情報・自然科学編、2014

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① スポーツにおける瞬間情報処理の心理学 ②スポーツビジョン力 ③スポーツ行動の動機づけ ④ソフトテニスの競技力向上

(Tomoyuki Nishikawa)

教授 **西 川 友 之**



- ① 担当科目 : 体育原理 体育史 スポーツに文化論 スポーツ実技(バレーボール・サッカー) 他
- ② 出身学校 : 東京教育大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会、日本バレーボール学会他
- ⑤ E-mail : nishikw@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇スキー教本 大修館書店 1987、◇バレーボール 100Q 入魂 日本文化出版 2005、◇FIVB COACHES MANUAL 2011 バレーボール・アンリミテッド 2011、◇改正ルール(2009-12 FIVB Rules of the game)について Coaching & Playing Volleyball 63号 2009、◇FIVBの次期ルール改正に向けた動向について Coaching & Playing Volleyball 65号 2009 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 地域社会とスポーツイベントの運営 ②地域社会とスポーツイベント ③競技規則(バレーボール)と社会的ニーズ

(Minetaka Nishikawa)

教授 **西川 峯高** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 社会学基礎 就職入門講座 労働社会論 他
- ② 出身学校 : 名古屋大学大学院
- ③ 学 位 : 経済学修士
- ④ 所属学会 : 日本社会学会 日本労働社会学会 社会思想史学会 環境社会学会他
- ⑤ E-mail : nisikawa@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇「M. ウェーバーにおける産業発展と合理化」金沢学院大学経営情報学部紀要 第2巻 第1号
- ◇「M. ウェーバーにおける工業労働者調査と理解社会学」金沢学院大学経営情報学部紀要 第3巻 第2号
- ◇「労働適応の諸問題」金沢学院大学経営情報学部紀要 第6巻 第1号
- ◇『起業マネジメント論[1]ゼロからの出発』ISBI 大学出版 2004年(共著)
- ◇「M. ウェーバー社会学における『心理学』の位置」金沢学院大学スポーツ健康学部論文集第1号

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ①M. ウェーバー経済社会学の思想史的研究 ②情報化、サービス経済化と労働問題 ③地域社会と福祉問題

(Atsuo Hirai)

教授 **平井 敦夫** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 健康科学 運動生理学 スポーツ実技Ⅱ(ニュースポーツ) 運動処方 スポーツ医学
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士(医学) 金沢大学
- ④ 所属学会 : 日本体力医学会
- ⑤ E-mail : hirai@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇いしかわウオーキングガイド(平成14年 北國新聞社)
- ◇運動負荷時の蒸散性熱放散反応は摂食により促進されるか(平成7年 科学研究費補助金一般研究(C)研究成果報告書)
- ◇動静脈吻合の体力医学的意義、デサントスポーツ科学、Vol.19 1998
- ◇摂食が指部と前腕部の血管反応に及ぼす影響 体力科学 Vol.44, 1995.
- ◇無風高温環境で頭部の熱移動におよぼす化粧の影響、宇宙航空環境医学 Vol.30, 1993.

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 運動中のエネルギー出納 ②運動と栄養 ③スポーツ傷害の予防

(Masami Hirashita)

教授 平下 政美



- ① 担当科目 : スポーツ科学 生理学基礎 健康運動演習
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士(医学) 金沢大学  
ICHPER 国際学会終身会員、日本生理学会、日本生気象学
- ④ 所属学会 : 会、日本体力医学会、日本運動生理学会、日本介護福祉学  
会 日本体育学会
- ⑤ E-mail : hirasita@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

著書 : ◇『貯めよう筋肉』2009年 北國新聞社 ◇「未病にきく15のワザ」2009年 JAF MATE  
論文 : The effect on body core temperature of the change in peripheral blood flow during  
lower body negative pressure. Environmental Ergonomics. (2005) Effects of Food  
Intake on Cardiovascular Responses to a Negative Lower-Body Pressure. Pre-Olympic  
Conference of Sports Science and Sports. (2004)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 暑熱馴化と運動パフォーマンスの関係究明 ② 高齢者における筋肉トレーニング効果の検証
- ② 液量と運動パフォーマンスの関係究明

(Harushi Furusawa)

教授 古澤 治司 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : データ解析(基礎) データ解析(演習) スポーツ統計学  
他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 理学博士(東北大学)
- ④ 所属学会 : 日本数学会 OR学会
- ⑤ E-mail : furusawa@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇The Hausdorff dimension of limit sets of Fuchsian groups of the type  $(g, m)$ , Mathematical  
Proceedings of Cambridge Philosophical Society, Vol.98  
◇A remark on the hyperbolic collar lemma, Tohoku Mathematical Journal Vol.39  
◇The exponent of convergence of Poincare series of combination groups, Tohoku Mathematical  
Journal, Vol.43

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 経営科学 ② クライン群とタイヒミュラー空間 ③ フラクタル

(Seishi Murakami)

教授 **村上 清史**



- ① 担当科目 : 生活習慣病概論 運動生化学 生命倫理
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 医学博士
- ④ 所属学会 : 日本分子生物学会 日本生化学会 日本癌学会 十全医学会
- ⑤ E-mail : murasei@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇B型肝炎ウイルスX淡白の転写促進機構の解明 ◇組換え型C型肝炎ウイルス複製酵素(NS5B)の発現・精製と機能解析 ◇ヒテロメラゼ複合体の精製と逆転写活性の解析 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① B型肝炎ウイルスと肝細胞癌発症 ② C型肝炎ウイルスの発現と複製

(Ryoko Watanabe)

教授 **渡辺 涼子** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : トレーニング論 他
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本武道学会
- ⑤ E-mail : ryoko@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「柔道強化選手と比較した大学柔道選手の精神的特徴」講道館柔道科学研究第12輯 197～204 2008 ◇「アテネオリンピックのメンタルサポーター日本代表選手のUK分析から」、講道館科学研究会紀要第10編、2005 ◇「全日本女子強化選手の運動機能に関する比較研究」柔道科学研究第1号 7-10 1995 ◇「女子柔道強化選手の体力に関する研究」武道学研究 第24巻 1993 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① 日本代表柔道選手の成育史に関する研究 ② 女子柔道選手のコンディション評価  
③ 柔道における新ルール改正への影響

(Tsuneo Suzumori)

准教授 **鈴木 庸雄**



- ① 担当科目 : 英語 I 英語 II 英語コミュニケーション I・II 海外文献購読 他
- ② 出身学校 : 立命館大学 (文学部)
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 日本英文学会 日本英文学会中部支部 立命館大学英米文学会
- ⑤ E-mail : suzumori@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

学校研究として勤務高校において次の研究開発事業に従事

◇文部科学省「スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール」事業 (石川県立羽咋高校 2004年) ◇文部科学省「研究開発学校」事業 (石川県立金沢錦丘高校・金沢錦丘中学校 2005年・2006年) ◇文部科学省「スーパー・サイエンス・ハイスクール」事業 (石川県立金沢泉丘高校 2007年) ◇「ねんりんピック石川 2010 に思う～生涯剣道の楽しさ～」(金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編第9号 P238 2011) ◇「本学スポーツ健康学部生の英語指導と『学生アスリート英語』の最小限不可欠表現」(金沢学院大学スポーツ健康学部論文集 VOL.2 P43-49)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

大学「導入教育」における効果的な英語指導法

(Takuya Fukui)

准教授 **福井 卓也**



- ① 担当科目 : スポーツ実技 運動学 競技者育成システム 他
- ② 出身学校 : 日本体育大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本スポーツ方法学会
- ⑤ E-mail : fukui@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「トランポリン選手のスポーツビジョン特性」(金沢学院大学スポーツ健康学部論文集 VOL1, p19-25 (2011)) ◇「トランポリン競技の技術体系に関する研究～後方回転技術系統について～」(金沢学院大学スポーツ健康学部論文集 VOL1, p47-52, (2011)) ◇「トランポリン競技におけるオリンピック強化対策に関する一考察～ロンドンオリンピック日本代表男子選手の事例～」(金沢学院大学スポーツ健康学部論文集 VOL2, p1-6, (2012)) ◇「トランポリン競技の技術体系に関する研究～前方回転技術系統について～」(金沢学院大学紀要情報科学・自然科学編第8号 P119～126 2006) ◇「トランポリン競技の技術体系に関する研究～垂直方向技術系統について～」(金沢学院大学紀要情報科学・自然科学編第4号 P119～126 2006) ◇「トランポリン競技における技の体系化に関する研究」(金沢学院大学紀要情報科学・自然科学編第3号 P115～124 2005) ◇本学学生の健康意識に関する調査研究(金沢学院大学文学部紀要第4集 P22～30 1999) ◇トランポリン競技におけるストレートバウンスの研究(金沢学院大学文学部紀要第1集 P1～8 1996) ◇トランポリン競技における着床技術(体育の科学 Vol.45 P174 杏林書院 1995) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

トランポリン競技の基礎であるストレートバウンスを研究し、技術の構造化・体系化を構築する。

(Akiko Maruyama)

准教授 **丸山 章子**



- ① 担当科目 : スポーツ科学 メンタルトレーニング論 スポーツ競技の心理
- ② 出身学校 : 金沢大学教育学部
- ③ 学 位 : 教育学修士 (金沢大学)
- ④ 所属学会 : スポーツ心理学会
- ⑤ E-mail : akiko-f@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「トランポリン競技における Lost Skill Syndrome に関する臨床的研究」金沢大学平成 10 年度修士論文 ◇「バスケットボール選手における心理的コンディショニングが競技成績に及ぼす影響」(金沢大学教育学部紀要第 46 号 1998) ◇「トランポリン選手のメンタルトレーニングに関する縦断的研究」金沢大学教育学部紀要第 47 号 1998 ◇「トランポリン競技選手の心理的サポートに関する縦断的研究ーオリンピックを目指す女子選手の事例ー」(金沢学院大学紀要情報科学・自然科学編第 4 号 2006)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

トランポリンをはじめ、各競技のメンタルトレーニングの効果、有効性について検討し、各競技に効果的なメンタルトレーニングプログラムを開発する。

(Kayoko Takagi)

講師 **高木 香代子**



- ① 担当科目 : スポーツ実技VI (ダンス)
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会
- ⑤ E-mail : k-takagi@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「エアロビックダンスの運動強度ー上肢、及び、下肢の動きの分類によるー」金沢大学大学院教育学研究科修士論文、1991

◇「エアロビックダンス・インストラクターの現状と問題点ーセミナー参加インストラクターを対象としてー」金沢大学教育学部紀要、教育科学編、第 47 号、1998 (共著)

◇「大学生の『創作ダンスの授業』に関する研究」金沢学院大学紀要情報科学、自然科学編、第 12 号、2014

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

◇学校体育におけるダンス及び表現運動に関する研究

◇ダンス・エクササイズの指導方法

(Ryo Haruna)

講師 **春名 亮**



- ① 担当科目 : 情報活用演習 情報処理演習 情報処理基礎 他
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院
- ③ 学 位 : 博士 (情報科学)
- ④ 所属学会 : 日本経営工学会 日本経営システム学会 日本オペレー  
ションズ・リサーチ学会 実践経営学会
- ⑤ E-mail : haruna@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇製品ライフサイクルの変化に対応する環境負荷の定量化、第51回日本経営システム学会全国発表大会 (2013. 12) ◇「経営工学のエッセンス」(第2章、第4章後半、付録A 執筆担当)、朝倉書店 (2012. 3) ◇「経営システム学への招待」(第11章1節執筆担当)、日本経営システム学会編、日本評論社 (2011. 12) ◇Evaluation of Middle and Long Term Management Efficiency of Public Museums by Network DEA, International Journal Biomedical Soft Computing and Human Sciences, Vol. 17, No. 1, pp. 11-17 (2011)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①生産・販売活動における管理・計画の手法とその応用 ②スポーツ・健康に関するデータ分析と意思決定

(Naotake Watanabe)

講師 **渡辺 直勇**



- ① 担当科目 : スポーツ実技Ⅷ (柔道・剣道)
- ② 出身学校 : 筑波大学大学院
- ③ 学 位 : 体育学修士
- ④ 所属学会 : 日本武道学会
- ⑤ E-mail : naotake@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「柔道選手における無酸素パワーと有酸素パワーの関係について」筑波大学修士論文 1989  
◇「一流男子柔道選手の試合前のコンディションづくりに関する実態調査」武道学研究 1997  
◇「世界強豪選手の組み手と技データ～2001世界選手権」柔道科学研究第8号 2003  
◇「学生生活におけるマナー意識向上のためのシステムの提案」本教育メディア学会 2010

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

① 柔道選手における体力 ②柔道競技での審判法について ③武道教育について

(Ayumi Yamawaki)

助教 **山脇 あゆみ**



- ① 担当科目 : スポーツ実技 I (シーズンスポーツ)
- ② 出身学校 : 京都教育大学大学院
- ③ 学 位 : 修士
- ④ 所属学会 : 日本体育学会 日本野外教育学会 東北アジア体育スポーツ史学会
- ⑤ E-mail : yamawaki@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇教育キャンプにおける参加児童の社会的行動に関する研究－低学年の変化を中心に－（修士論文）、[京都教育大学 2009 受理]

◇組織キャンプにおける参加児童の社会的行動に関する研究、野外教育研究第 14 号、P1-12(2011)

◇台湾に伝えられた日本泳法－古亭在水泳場と基隆水泳場を中心に－、体育史研究第 30 号、PP97-108(2013) ◇金沢に伝わる古式泳法に関する研究～清記流の泳法について～、金沢学院大学紀要第 11 号、経営・経済・情報科学・自然科学編、PP199-207(2013)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 野外教育 ② 野外スポーツ ③ 日本水泳（古式泳法）

# 金沢学院大学 基礎教育機構

機構長 小松 洋一

文学部・分属担当

教授	准教授	講師	助教
田邊 正彰 中島 彰史 中西 茂行 中町 力 益子 待也 水井 雅子 諸岡 康哉		坂東 貴夫	中川 恵理子

(五十音順)

経営情報学部・分属担当

教授	准教授	講師	助教
小松 洋一 竹味 能成	酒井 亨 塚崎 玲子	山岸 由美子 米澤 順一 林 文慧	

(五十音順)

美術文化学部・分属担当

教授	准教授	講師	助教
山崎 達文	佐々木 圭一 武村 敏幸	村谷 聡志	

(五十音順)

スポーツ健康学部・分属担当

教授	准教授	講師	助教
南 俊博			

(五十音順)

各学科担当については記載略

(Masaaki Tanabe)

教授 **田邊 正彰**



教育原論 教育制度論 教育実地研究 教育実習Ⅰ・Ⅱ

- ① 担当科目 : 教職実践演習 就職教養Ⅲ・Ⅳ 日本語・日本文学基礎研究 他
- ② 出身学校 : 信州大学
- ③ 学 位 : 文学修士 (龍谷大学)
- ④ 所属学会 : 日本哲学会 関西倫理学会 日本教師教育学会 日本シ  
ョーペンハウアー協会 (学会評議員) 他
- ⑤ E-mail : m-tanabe@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇「3.11 の後に哲学すること—ゲオルク・ピヒトの『ここで、そして今』(第二巻)に寄せて」(『B ショーペンハウアー研究』第17号、2012年11月) ◇「歴史的現実世界をめぐる幾つかのミニマ・モラリアー—3.11以後の思索と教育への責任—」(金沢学院大学紀要)第10号、2012年3月 ◇「鈴木大拙の科学解義—我々の時代の道標—」(『金沢学院大学紀要』第9号、2011年3月) ◇『鈴木大拙と日本文化』(共著、朝文社、2010年6月) ◇「欧州高等教育圏と質保証」(『金沢学院大学紀要』第8号、2010年3月) ◇「「教職演習」の「教育実践演習」化の課題」(『金沢学院大学紀要』第7号 2009年3月)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

教育人間学・哲学の人間学。西田幾多郎と京都学派の「歴史的現実性」をめぐる揺れ動きを研究テーマとしている。

(Ayahumi Nakajima)

教授 **中島 彰史** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : アドバンスト・イングリッシュⅠ・Ⅱ 言語学概論Ⅰ・Ⅱ  
英語学講読 英語音声学 朝鮮語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 他
- ② 出身学校 : 名古屋大学
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本言語学会 日本英語学会 日本認知言語学会
- ⑤ E-mail : nakajima@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇「英語の句動詞における不変化詞の意味論」(『金沢学院大学紀要 文学・美術・社会学編』第7号 2009年3月) ◇「コーパスデータに基づく英語心理動詞の分析」(『金沢学院大学紀要 文学・美術編』第3号 2005年) ◇「英語における名詞転換動詞とその概念化」(『金沢学院大学文学部紀要』第4集 1999年)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

言語の形態構造や文法構造と意味・概念構造との間にいかなる関連性があるのかを類型論的に研究している。

(Shigeyuki Nakanishi)

教授 **中西 茂行** 人文学研究科担当



- 社会学Ⅰ・Ⅱ 社会コミュニケーション論 行動文化特殊講義Ⅱ(社会意識論演習 プレゼンⅠ・Ⅱ 就職教養Ⅰ 卒業研究 他)
- ① 担当科目 : 会) 社会意識論演習 プレゼンⅠ・Ⅱ 就職教養Ⅰ 卒業研究 他
- ② 出身学校 : 青山学院大学、東京教育大学、日本大学大学院
- ③ 学 位 : 文学修士 (日本大学)
- ④ 所属学会 : 日本社会学会 日本社会学史学会 日本マンガ学会
- ⑤ E-mail : s-nakani@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「自分史に記された移動の記憶」(共著『新時代の現代社会学6講』福村出版2014年) ◇共著『社会理論と社会システム(社会福祉士シリーズ第3巻)』弘文堂2版2014年 ◇「世代とライフコースから見たマンガ文化成立の意義(上)(中)(下)」(『金沢学院大学紀要(文学・美術・社会学編)』第7.8.9号 2009年,2010年,2011年) ◇共著『事典 日本人の見た外国』日外アソシエーツ2008年 ◇「自分史ブームの系譜」(共著『社会学的アプローチ』新泉社2005年) ◇『生活と成熟の社会学』(単著 学文社2版2001年) ◇「博物館学芸員の職務内容と役割葛藤」(〔採録〕『教育学論説資料』第9号 論説資料保存会1994年) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

高度成長期前後の歴史社会学的、歴史心理学的研究。現在、雑誌『思想の科学』の知識社会学的研究と「自分史」及び「マンガ」の歴史社会学的、歴史心理学的研究を行っている。

(Riki Nakamachi)

教授 **中町 力**



- ① 担当科目 : 地域文化論
- ② 出身学校 : 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 日展会員 石川県美術文化協会理事 日本美術家連盟  
会員 青塔社会員 京都日本画家協会会員
- ⑤ E-mail : riki@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「埠頭」日展初入選 1987 以後「エアポート」「HONGKONG'90」「Brooklyn Bridge」「NEW YORK'97」「BROADWAY」「Brooklyn」等 ◇「サンフランシスコ」現代美術展 美術文化大賞 1996 ◇「8番街」日春展日春賞 1996 ◇「暮」日春展奨励賞 1997 ◇「PINE STREET」日春展奨励賞 2002 ◇「FromTheBus・NewYork」日春展奨励賞 2003 ◇「Lex.Avenue」日展 特選 2000 ◇「STAZIONE」日展 無鑑査 2001 ◇「MONTPARNASSE」日展 特選 2003 ◇「闘牛場の見える街」日展 出品委嘱 2006 ◇「TOKYO STATION」日展審査員出品 2007 ◇金沢市文化活動賞受賞 2008 ◇「THE BRONX」日展会員賞 2011 ◇紺綬褒章 2013

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①ニューヨークなどの都会、特に現代建築を題材にした風景画 ②古典的花鳥画、特に「椿」を題材にした作品の制作

(Machiya Mashiko)

教授 **益子 待也** 人文学研究科担当



文化人類学特論 文化人類学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学演習 日本

- ① 担当科目 : 民俗学 行動文化基礎演習 行動文化特殊講義 プレゼン I・II 他
- ② 出身学校 : 埼玉大学
- ③ 学位 : 博士(文学)(筑波大学)
- ④ 所属学会 : 日本文化人類学会 日本民俗学会 加能民俗の会
- ⑤ E-mail : mashiko@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「南島アラスカ・トリギットの死者祭宴(I)(II)(III)(IV)(V)」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編、第8～11号 2010年3月、2011年3月、2012年3月、2013年3月、2014年3月) ◇『現代社会学事典』(2012年11月、弘文堂) ◇「ワリカラスと太陽-ジェップ領域における日光解放神話-」(『渡鴉のアーチ(1903-2002)』国立民族学博物館調査報告 No.82, 2009年3月) ◇「サイノとシキダイ-石川県七尾市熊淵川流域の民俗-」(『金沢学院大学紀要』文学・美術・社会学編、第7号 2009年3月) 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①文化人類学と日本民俗学 ②北方先住民文化の研究 ③カラスの民俗学 ④旧暦六月一日の民族

(Masako Mizui)

教授 **水井 雅子** 人文学研究科担当



- ① 担当科目 : 児童文学 英語特殊研究 英米文学講読Ⅱ 英米文学演習Ⅱ アドバンスト・イングリッシュⅠ・Ⅱ 卒業研究
- ② 出身学校 : 成蹊大学
- ③ 学位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本イギリス児童文学会 日本児童文学学会
- ⑤ E-mail : mizui@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇「J.R.R. トールキン作品に見る「彼岸」のイメージ」金沢学院大学紀要:2013 ◇「J.R.R. トールキンファンタジーの構造と児童文学のテーマ」金沢学院大学:2008 ◇「リアリティを求めて-トールキンの世界における登場人物の変遷」金沢学院大学紀要;2006 ◇『J.R.R. トールキン:現代英米児童文学評伝叢書7』KTC 中央出版;2004 ◇「J.R.R. トールキン訳、古英詩『出エジプト記』考」(金沢学院大学紀要;2000) ◇「トールキン論-日常性の役割」金沢学院大学紀要:1999 ◇『花ひらくファンタジー:作品を読んで考えるイギリス児童文学講座4』ジュラ出版局:2012 ◇『根を下ろすファンタジー:作品を読んで考えるイギリス児童文学講座3』ジュラ出版局:2011 ◇『芽吹きはじめたファンタジー:作品を読んで考えるイギリス児童文学講座2』ジュラ出版局;2010 ◇『ファンタジーの生まれるまで:作品を読んで考えるイギリス児童文学講座1』ジュラ出版局:2009 ◇『イバラの宝冠:イギリス女流児童文学作家の系譜⑤』透土社;1996 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

イギリス児童文学の、特にハイ・ファンタジーの分野。J・R・R・トールキンの作品を、改めて、作家、ファンタジー性から考え、ひいては児童文学に込められたメッセージの普遍性を見ていく。

(Kosai Morooka)

教授 諸岡 康哉



- ① 担当科目 : 教育課程論、教育方法・技術論
- ② 出身学校 : 広島大学大学院教育学研究科博士課程単位修得満期退学
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本教育方法学会
- ⑤ E-mail : morooka@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇『特別活動の基礎と展開』共編著 平成11年3月 コレール社 ◇『人と生きる力を育てる』 共編著 平成18年6月 新読書社 ◇『現代教育方法辞典』共編著 平成16年10月 図書文化社

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

授業指導論・幼児教育論

(Youichi Komatsu)

教授 小松 洋一



- ① 担当科目 : 倫理学概説 プレゼミ I・II ドイツ語 I・II 国語表現
- ② 出身学校 : 大阪大学大学院文学研究科博士課程哲学哲学史専攻
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本哲学会 比較思想学会 関西哲学会
- ⑤ E-mail : komatsu@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇著書・論文:R. A. マックリール「ディルタイ」(法政大学出版局 1993年発行)の第3部を翻訳 「哲学入門哲学基本事典」(富士書店 1992年発行)で「解釈学」の章を担当 「三木清における実践哲学としての歴史哲学の試み」(金沢学院大学紀要第4号 2006年) 「待つということについての若干の考察」(金沢学院大学紀要第6号 2008年) 「青年期三木清における人間学の探究」(金沢学院大学紀要第9号 2011年) 「三木清の処女作推敲に関する報告」(金沢学院大学紀要第10号 2012年) 「昭和14年刊行の哲学書に関する覚え書き」(金沢学院大学紀要第11号 2013年)  
◇学会発表:「ディルタイにおける生と認識」日本宗教学会第46回大会 「ディルタイの生の世界観と類型論」大阪カント・アーベント第14回研究会 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①事実としての歴史と歴史記述との関係 ②ことばの表現と想像力との関係 ③現代社会におけるコミュニケーションの成立

(Yoshinari Takemi)

教授 **竹味 能成** 経営情報学研究科(M)担当



- ① 担当科目 : 地域経済論
- ② 出身学校 : 静岡大学 立命館大学大学院
- ③ 学 位 : 経済学修士 (立命館大学)
- ④ 所属学会 : 経済理論学会 信用理論研究学会 日本地域経済学会  
北東アジア学会
- ⑤ E-mail : takemi@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「石川県の機械産業における産業集積と市場創造」『北経調研究』(北陸経済調査会)No. 109  
2006年 ◇「過疎地域における産業構造の変化と産業振興の課題—石川県能登地域を事例として—」  
『金沢学院大学紀要』(経営・経済・社会学編)第3号 2005年 ◇『石川県史現代篇(6)』石川  
県 1995年(共著) ◇『現代沖縄経済論』法律文化社 1990年(共著) ◇『現代の経済原論』  
新評論 1986年(共著) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 価値および景気に関する理論的研究 ② 地域における産業構造・企業構造の研究

(Tatsufumi Yamazaki)

教授 **山崎 達文**



- ① 担当科目 : 工芸論 I・II 美術と社会 文化財入門 博物館概論 博  
物館資料論 博物館資料保存論 博物館実習 I・II 他
- ② 出身学校 : 横浜国立大学 金沢美術工芸大学
- ③ 学 位 : 芸術学修士
- ④ 所属学会 : 漆工史学会 意匠学会 文化財保存修復学会
- ⑤ E-mail : yama@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇『金沢金箔伝統技術調査報告—製箔用手漉き紙に関する研究』金沢市 2013 ◇「日本の金箔製造におけ  
る澄打紙の研究」(金沢学院大学紀要文学美術編第10号) 2012 ◇『工藝の再結晶』共著(紅ミュージア  
ム) 2011 ◇『金沢金箔伝統技術調査報告—縁付金箔に関する報告』金沢市 2010 ◇『製箔用手漉き澄打  
紙復興への取り組み』石川県箔商工業協同組合 2009 ◇『甦る江戸の化粧道具 板紅』共著(紅ミュージア  
ム) 2008 ◇『叢書・近代日本のデザイン明治編』共著(ゆまに書房) 2007 ◇『週間人間国宝 43 工芸技術  
漆芸④』共著(朝日新聞社) 2007 ◇『同19 同②』(同) 2006 ◇『近代日本デザイン史』共著(美学出版) 2006  
◇「金沢銅器会社研究—」(本学紀要第4号) 2006 ◇『漆芸家小松芳光遺作集』編著(橋本確文堂) 2005 ◇「輪  
島塗椀の加飾表現に関する一考察—昭和の見本椀をとおして」(同紀要第2号) 2004 ◇「納富介次郎の目指  
したもの—工芸産業の育成振興にむけて」(同紀要第1号) 2003

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 近代初頭以来、国策としての美術振興が従来からの工芸観に及ぼした作用とその展開 ② 地方在来産業諸  
職活性化支援 ③ 美術表現における素材と技術の連関に関する研究

(Toshihiro Minami)

教授 **南 俊博**



- ① 担当科目 : 情報処理基礎 情報処理演習 情報活用演習 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 情報科学修士 (北陸先端科学技術大学院大学)
- ④ 所属学会 : 情報処理学会 日本オペレーションズ・リサーチ学会 教  
育システム情報学会 応用統計学会
- ⑤ E-mail : t-minami@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

- ◇連想モデルによる土器の形状分類 金沢学院大学経営情報学部紀要 第6号 第1号
- ◇数値解析演習におけるExcelの適用、金沢学院大学経営情報学部紀要 第6号 第1号
- ◇「情報セキュリティ教科書」東京電機出版(共著)2008年 ◇「情報セキュリティアドミニストレータ完全攻略」ナツメ社(共著)2003年 ◇「パーフェクト合格基本情報技術者」実教出版(共著)2001年 ◇「テクニカルエンジニア試験 ネットワーク午後I・II完全対策」日本経済新聞社(共著)2001年 ◇「Excelの入門から応用まで」学術図書出版(共著)1999年 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 知能情報 ② 情報教育 ③ マルチメディアシステム

(Toru Sakai)

准教授 **酒井 亨**



- ① 担当科目 : 国語表現(ビジネス文書) ビジネスマナー 教養特講(アジア事情)
- ② 出身学校 : 早稲田大学政治経済学部政治学科 台湾大学大学院法学  
研究科修士課程
- ③ 学 位 : 法学修士
- ④ 所属学会 : 日本台湾学会 情報通信学会 台湾史研究会 (日本比較  
政治学会)
- ⑤ E-mail : sakai-t@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

- ◇『哈日族 なぜ日本が好きなのか』(光文社新書2004年228ページ) ◇『台湾 したたかな隣人』(集英社新書2006年206ページ) ◇『台湾入門 増補改訂版』(日中出版2006年275ページ) ◇「台湾のNGOと社会運動」、『季刊NPOジャーナル』(関西国際交流団体協議会)Vol.18(2007年8月)pp.40-43
- ◇「台湾の日本大衆文化受容、『哈日族(ハーリーズー)』についての考察」、伊藤陽一・編『文化の国際流通と市民意識』、慶応義塾大学出版会2007年1月pp.91-114 ◇「台湾の民主化アクター再考—1980年代環境汚染をめぐる『自力救済』運動を中心に」『国際協力論集』第19巻第1号(神戸大学大学院国際協力研究科)2011年7月pp.139-153 ◇『従非営利組織発展論現代憲法「市民社会」理論之界限—以台湾、日本、韓国三國之比較為主』台湾大學法律研究所碩士論文2005年7月

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

台湾および韓国の民主化過程の比較、アニメコンテンツによる地域振興(特に北陸地域)、日本大衆文化のアジアにおける受容と対日感情の関連性、東南アジア華人現地化過程と意識変化

(Reiko Tsukasaki)

准教授 塚崎 玲子



- ① 担当科目 : 基礎演習 演習 フレッシュマン・イングリッシュ I・II アドバンスド・イングリッシュ I・II 英語コミュニケーション I・II 他
- ② 出身学校 : 富山大学
- ③ 学 位 : 文学修士 (奈良女子大学)
- ④ 所属学会 : 日本英文学会 日本フランス語フランス文学会 奈良女子大学英語英米文学会
- ⑤ E-mail : tukasaki@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇「『嵐が丘』の舞台裏—大農家としての風景—」日本英文学会『英文学研究』支部統合号第一巻 2009.1 ◇「ヒースクリフはなぜジプシーなのか—『嵐が丘』に潜む歴史的背景—」『文学と女性』英宝社 2000.11 ◇“Word Frequency in the Poems of Emily Brontë”(Brontë Society Transactions Volume25, part2. Maney Publishing, Leeds. October2000) ◇「キャサリン・アーンショーの『秘密』」『エミリ・ブロンテ論』開文社出版 1998.10 ◇Wuthering Heights における空白期間についての考察」日本英文学会中部支部『中部英文学』第15号 1996.3 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Wuthering Heights を理解するのに必要な、歴史的・文化的背景の掘り起こしを行っている。

(Keiichi Sasaki)

准教授 佐々木 圭一



- ① 担当科目 : 美術文化演習 自然造形論 素材科学 美術と社会 自然地理学概説 I・II 環境科学の基礎 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 博士 (理学) [金沢大学]
- ④ 所属学会 : 日本地質学会 日本第四紀学会 日本サンゴ礁学会
- ⑤ E-mail : sasak1@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇炭素・酸素同位体組成に基づく地表露出面から復元する約 62~52 ka の海水準変動 (2013) 共著 地質学雑誌 v. 119, p. 155-170

◇ $^{230}\text{Th}/^{234}\text{U}$  and  $^{14}\text{C}$  dating of a lowstand coral reef beneath the insular shelf off Irabu Island, Ryukyus, southwestern Japan (2006) 共著 Island Arc v. 15, p. 455-467

◇Interstadial coral reef terraces and relative sea-level changes during the marine isotope stages 3-4 at Kikai Island, central Ryukyus, Japan. (2004) 共著 Quat. Int., v. 120, p. 51-64

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①南西諸島喜界島における完新世サンゴ礁段丘の形成過程 ②琉球列島のサンゴ礁堆積物からみた後期更新世以降の海水準変動 ③放射性同位体を用いた物質循環に関する研究 ④小笠原硫黄島の地形・地質発達史

(Toshiyuki Takemura)

准教授 **武村 敏幸**



- ① 担当科目 : 法学Ⅰ (日本国憲法) 法学Ⅱ (法律学概論) 知的所有  
権法 知的所有権論 日本国憲法 法と社会 民法
- ② 出身学校 : 金沢大学法文学部大学院法学研究科修士課程
- ③ 学 位 : 法学修士
- ④ 所属学会 : 比較法学会 日本公法学会
- ⑤ E-mail : takemura@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

大学の「紀要」に論文を投稿している。また、一般社会人の方を対象とした「公開講座」も2回担当した。著書については、共著がいくつかあるが、個人名義の単著はないので、今後、講義ノートをまとめた本を出版できればと考えている。

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

専攻である憲法に関する今日的諸問題を、最新のデータを基にして検討しているが、ここ最近、ネットワーク社会の明と暗および知的財産の国際的問題あるいはスポーツ分野の法的動向を主な研究テーマとしている。

(Takao Bando)

講師 **坂東 貴夫**



- 英語特殊研究 フレッシュマン・イングリッシュⅠ・Ⅱ
- ① 担当科目 : コミュニカティブ・イングリッシュⅠ・Ⅱ 応用英語研究  
言語習得研究
- ② 出身学校 : 名古屋大学
- ③ 学 位 : 学術修士
- ④ 所属学会 : 言語科学会 外国語教育メディア学会 大学英語教育学  
会 全国英語教育学会
- ⑤ E-mail : bando@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇ “Subcategorization on Processing Garden-path Sentences by Japanese Learners of English as a Foreign Language” (*JACET Bulletin, No. 55, 2012*) ◇ 「英文完成課題による動詞下位範疇化情報に関する調査—DO バイアスと SC バイアスの発達的变化—」(『ククロス:名古屋大学国際コミュニケーション論集』第10号 2013年) ◇ 「視線計測装置を用いた暗示的文法知識の習得困難性の測定—処理の「即時性」に着目して—」(『外国語教育メディア学会第52回全国研究大会予稿集』2012年)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

第二言語文処理。読解時間の測定等を用いた実証的研究により、英語学習者による英文の理解過程について研究している。

(Yumio Yamagishi)

講師 **山岸 由美子**



- ① 担当科目 : 英語 I・II・III・IV アドバンスト・イングリッシュ I・II・III・IV プレゼミ
- ② 出身学校 : 立教大学英米文学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : y-yamagi@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 高等学校英語教材の研究とその指導法
- ② 大学における基礎科目としての英語教育の在り方を探る

(Junichi Yonezawa)

講師 **米澤 順一**



- ① 担当科目 : 簿記 I・II 原価計算
- ② 出身学校 : 金沢大学 (経済学部)
- ③ 学 位 : 経営情報学修士 (金沢学院大学大学院)
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : yonezawa@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

- ◇ 「ストック・オプション会計の問題点に関する一考察」 金沢学院大学平成 18 年度修士論文
- ◇ 「わが国における退職給付会計の展開 (1)」 金沢学院大学紀要第 12 号 (2014)

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 退職給付会計 ② 簿記の教授法

(Wenhui Lin)

講師 **林 文慧**



- ① 担当科目 : 中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- ② 出身学校 : 富山大学
- ③ 学 位 : 修士(経済学)
- ④ 所属学会 : 日本中国語学会 日本エスぺラント学会 NPO 法人日本資源開発協会
- ⑤ E-mail : melin@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇有機肥料・牛糞堆肥(かんとりースーパー河北潟)と見化石肥料の併用効果(共著)農業および園芸、89巻1号、2014 ◇中国語「句」の学習—日本語と英語と対照に、金沢学院大学紀要 第12号、2014 ◇三言両語 循序漸進 2013.5.好文出版 ◇中国語の基本文型の学習—中国語・日本語・英語との比較を導入した指導法2013.3.金沢学院大学紀要 第11号 ◇やさしい中国語・基礎Ⅰ 2012.4.好文社 ◇「ma」のない中国語疑問文の学習—英語のWh-Questionsと対照しながら—2012.3 金沢学院大学紀要 第10号 ◇中国語の修飾について(—日本語のとの比較)2010・3 金城短大紀要 第35号 ◇茶文化の道へ(—喫茶普及における中国と日本の比較)2009・3 金城短大紀要 第34号 ◇中国の「高考経済」について(—現代中国における教育改革の実態)2006・3 金城短大紀要 第30号 ◇共訳:Field Guide to the Documentation and Description of OILED SHORELINES (Edward H. Owens and Gary A. Sergey 1994 Environment Canada) 2005.12 海洋工学研究所 ◇「経済」という言葉のバブル現象(—現代中国語の「XX 経済」について) 金城短大紀要 第29号2005・3 ◇中国の企業グループ(—その形成と育成策について) 富山大学大学院経済論文集1992・3他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 中国語文構造の分析(日本語との比較) ②実践中国語の速成法 ③日中経済文化の相異性

(Soshi Muratani)

講師 **村谷 聡志**



- ① 担当科目 : 漆芸Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 工芸演習 漆芸表現法 他
- ② 出身学校 : 金沢学院大学
- ③ 学 位 : 学士
- ④ 所属学会 : (社)日本工芸会準会員
- ⑤ E-mail : muratani@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

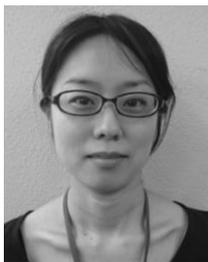
◇第22回日本伝統漆芸展 日本工芸会賞 変塗り飾り箱「華」  
◇第61回金沢市工芸展 北国新聞社社長賞 乾漆銘々皿「花想う」  
◇第62回金沢市工芸展 金沢青年会議所理事長賞 「乾漆銘々皿」  
◇第47回石川の伝統工芸展 奨励賞 蒔絵飾り箱「空へ」  
◇第66回現代美術展 次賞「乾漆盛器」  
◇第27回日本伝統漆芸展 東京都教育委員会賞「水韻」

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 態と加飾の相互性と必然性 ②素地からの一貫制作と胎の研究

(Eriko Nakagawa)

助教 **中川 恵理子**



- ① 担当科目 : 図書館情報技術論 情報サービス論 情報サービス演習  
情報資源組織論 情報資源組織演習
- ② 出身学校 : 武庫川女子大学文学部日本語日本文学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : なし
- ⑤ E-mail : e-naka@kanazawa-gu. ac. jp

I. 主な研究業績・作品等

なし

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 大学図書館の利用促進について ② 司書課程履修者のこれまでの図書館利用状況について

## 金沢学院短期大学

- ・ ライフデザイン総合学科
- ・ 食物栄養学科

# 金沢学院短期大学

学 長 秋山 稔

副学長 河内 久美子

	教授	准教授	講師	助教
ライフデザイン総合学科	○國田 千恵子 河内 久美子 松井 良雄	可部野 和子 小林 淳一 田畑 圭介 R. W. カニングラム	亀田 孝太郎 廣根 礼子	
食物栄養学科	○渡邊 琢夫 木村 敦子 野村 孝弘 矢野 俊博	七尾 由美子 西野 喜美子 水口 富美江	岩田 恵美子 森田 一雄	高澤 奈々世

○：学科長

(五十音順)

(Chieko Kunida)

教授 **國田 千恵子**



- ① 担当科目 : 秘書実務 ビジネスマナー ビジネス文書 健康心理学  
インターンシップ 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院教育学研究科修士課程
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本教育心理学会 日本心理学会 日本健康心理学会  
日本ビジネス実務学会 他
- ⑤ E-mail : kunida@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇著書(分担執筆) 『秘書学入門』(学陽書房 1995)

『K・P・Sシリーズ 7 社会心理学』(建帛社 1996) 『ビジネスワークの基礎』(嵯峨野書院 1998) ◇論文(共同研究) 「秘書の心理学資質と業務効率感の関連について」(日本ビジネス実務学会発行ビジネス実務集 No. 20 2002) (共同研究)「大学生の共感能力に関する研究」(金沢大学院大学紀要 第4号 2006) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①実務教育の効果的な授業方法の研究 ②大学生の共感能力について

(Yoshio Matsui)

教授 **松井 良雄**



- ① 担当科目 : IT 活用実習 I・II 住宅設計 II 自然科学入門 情報機器演習 食品物性論 基礎演習 卒業研究 I・II 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院工学研究科機械工学専攻
- ③ 学 位 : 博士(工学)
- ④ 所属学会 : 日本機械学会 ターボ機械協会 日本生物環境工学会  
日本設計工学会 日本混相流学会 他
- ⑤ E-mail : matsui@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇短期大学生に向学心を芽生えさせる教育—ICT、モノづくり、自然科学、資格取得—, 日本生物環境工学会中部支部例会・講演会, 2013-12. ◇SMA(Speaking Mushroom Approach) Environmental Control System Development:Automated Cultivation Control System Characterization, The 2013 IFAC Bio-Robotics Conference, March 27-29, 2013, Sakai, Japan. ◇MRI 装置を用いたマイタケ培地内部における菌糸発達過程の3D表示の試み, 植物環境工学, 21 巻, 4 号, p.149-153, 2009-12. ◇金沢大学における機械系導入実習, 砥粒加工学会誌, 52 巻, 9 号, p. 519-522, 2008-9. 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①LED 光源を活用した茸類の栽培効率改善に関する研究 ②短期大学生の情報処理能力向上を目指した教育方法の検討 ③創造性を育むモノづくり&IT コラボ教育のシステム開発 ④科学の話題や数学・理科の基礎教育における授業活性化の取り組み

(Takuo Watanabe)

教授 **渡邊 琢夫**



- ① 担当科目 : 解剖生理学 解剖生理学実験 臨床栄養学 他
- ② 出身学校 : 東北大学医学部 同大学院医学系研究科
- ③ 学 位 : 医学博士
- ④ 所属学会 : 日本生化学会 日本糖尿病学会 米国分子生物学・生化学学会
- ⑤ E-mail : takuo@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇Regulation of alternative splicing of the receptor for advanced glycation endproducts (RAGE) through G-rich cis-elements and heterogenous nuclear ribonucleoprotein (hnRNP) H. J. Biochem., 147, 651-659 (2010). 共著  
◇Reduced expression of endogenous secretory receptor for advanced glycation endproducts in hippocampal neurons of Alzheimer's disease brains. Arch. Histol. Cytol., 70, 279-290 (2007). 共著  
◇Endogenous secretory receptor for advanced glycation end-products inhibits amyloid- $\beta$ 1-42 uptake into mouse brain. J. Alzheimers Dis., 28, 709-720 (2012)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

糖尿病をはじめとする生活習慣病の病態や合併症の発症機構を細胞・分子レベルで理解し、その知見を生活習慣病の予防に生かしていきたい。

(Atuko Kimura)

教授 **木村 敦子**



- ① 担当科目 : 心理学II 応用心理学基礎I 心理検査法 心理学実習  
臨床心理学演習I・II 教育心理学 教育相談 他
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 日本心理学会 日本心理臨床学会 日本行動療法学会  
日本パーソナリティー学会
- ⑤ E-mail : a-kimura@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇MMPI/MMPI2 現代のエスプリ別冊臨床心理学事典 2005 ◇変わり行く大学と保健管理センターの役割ー学生相談の立場からー平成 15 年度全国大学保健管理協会東海北陸地方部会研究集会報告書 2003 ◇MMPI による心理査定(共訳)1999 三共房 ◇精神健康調査(GHQ)得点と学生の留年・退学について 金沢大学保健管理センター報告書 第 21 号 1995 ◇大学生のメンタルヘルス教育ーメンタルヘルスに関する意識調査よりー金沢大学保健管理センター報告書 第 19 号 1993

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① MMPI ②大学生のメンタルヘルス

(Takahiro Nomura)

教授 **野村 孝弘**



- ① 担当科目 : 基礎栄養学 生化学 生化学実験 栄養学特論 栄養生  
理学 I 食品機能分析学 他
- ② 出身学校 : 金沢大学大学院医学研究科生理系専攻博士課程
- ③ 学 位 : 医学博士
- ④ 所属学会 : 日本癌学会 日本分子生物学会
- ⑤ E-mail : nomurat@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇論文 Study on the physiological condition of female collegiate athletes in the Hokuriku region where situates at a heavy snowy area in Japan. 東京家政大学研究紀要, 54, 7-12 (2014). 夕食を分割摂取することが肥満による代謝異常に及ぼす多面的効果. 糖尿病, 56, 833-840 (2013). Molecular Medicine Report, 3, 121-125 (2010). Cancer Epidemiology, 33, 288-292 (2009). J. Clinical Biochem. and Nutrition, 43, 512-515 (2008). 日本調理科学会誌, 40, 166-172 (2007). Cancer Detection and Prevention, 30, 174-179 (2006). Current Genetics, 47, 359-367 (2005). Cancer Detection and Prevention, 29, 155-160 (2005). Molecular and Cellular Biology, 24, 8556-8566 (2004).

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

食品成分による腫瘍管理の可能性、癌転移制御のためのモデル細胞、細胞分化と脱癌化

(Toshihiro Yano)

教授 **矢野 俊博**



- ① 担当科目 : 食品学 I・II、食品衛生学、食品学実験、食品衛生学実験、  
他
- ② 出身学校 : 立命館大学 理工学部
- ③ 学 位 : 農学博士
- ④ 所属学会 : 日本防菌防黴学会、日本食品微生物学会 他
- ⑤ E-mail : yanotosh@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇著書 (分担執筆) 『管理栄養士のための大量調理施設の衛生管理』(幸書房 2005) 『実践!! 食品工場の品質管理』(幸書房 2008) 『実践!! 食品工場のハザード管理』(幸書房 2011)  
◇原著論文 (共同研究) 「清酒の小仕込み試験における酒質、特に有機酸生成に及ぼす影響因子」(日本醸造学会誌 108 2013) 「Effect of food residues on efficiency of surfactants against food related pathogens adhered polystyrene and ceramic surfaces」(LWT-food science and technology 46 2013) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 品の安全性の担保および品質改善に関する研究 ②清酒製造に関する研究 ③食品の新しい殺菌技術に関する研究

(Kazuko Kabeno)

准教授 **可部野 和子**



- ① 担当科目 : アパレルデザイン 被服構成実習Ⅰ・Ⅱ 服飾造形実習 テキスタイル 卒業研究Ⅰ・Ⅱ 他
- ② 出身学校 : 東京家政学院大学大学院人間生活学研究所
- ③ 学 位 : 人間生活学修士
- ④ 所属学会 : 日本家政学会 繊維製品消費科学会 繊維学会 日本色彩学会
- ⑤ E-mail : kkazu@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇学会発表:「子育て環境と色彩景観—金沢を事例として—」(共著 日本色彩学会 第40回全国大会 2009) 「THE RESEARCH OF A JUNIOR COLLEGES EDUCATION IN COOPERATION WITH INDUSTRIES III」(共著 ASIAN REGIONAL ASSOCIATION FOR HOME ECONOMICS 2006) 「地域生活文化と連携した教育方法改善に関する研究Ⅰ」(共著 第57回日本家政学会年次大会 2006) 「Breast oscillating characteristics and their effects on the problems of yukata loosening or slackening」(共著 INTERNATIONAL FEDERATION FOR HOME ECONOMICS 2004) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

新しい世代のファッション消費を探るため、ファッションに興味を持った短期大学生のファッション商品購入に関するアンケートを実施した。「おしゃれ」の基準と価値観が変わってきている近年の問題を把握・検証し、さらに、北陸の特徴を捉えることを目的とする。

(Junichi Kobayashi)

准教授 **小林 淳一**



- ① 担当科目 : 教職論 教職実践演習(栄養教諭) 基礎英語Ⅰ・Ⅱ 海外文献講読 生涯学習概論 他
- ② 出身学校 : 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所
- ③ 学 位 : 博士(学校教育学)
- ④ 所属学会 : 日本教師教育学会 日本教育経営学会 日本カリキュラム学会 日本学校教育学会 他
- ⑤ E-mail : kobayasi@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

◇著書『メディア・リテラシーの方法』リベルタ出版、2001、(共訳・『第5章 神話的分析』)

◇論文「免許制度改革の現状と養成段階での学生の学び」日本学校教育学会『グローバル時代の学校教育』pp.160-171. 2013◇論文「教員養成系大学における学生の職業選択意識の形成研究—教職経験と教職決定過程における葛藤の解明—」兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究所 平成21年度学位論文、2010. 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

①教員養成・教師教育 ②エスノグラフィー ③メディア・リテラシー 他

(Keisuke Tabata)

准教授 **田畑 圭介**



- ① 担当科目 : 機器利用プレゼンテーション演習 異文化間コミュニケーション I・II 卒業研究 I・II 他
- ② 出身学校 : 京都外国語大学大学院外国語学研究科英米語学専攻
- ③ 学 位 : 文学修士
- ④ 所属学会 : 日本英語学会 外国語教育メディア学会 英語コーパス学会
- ⑤ E-mail : tabata@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇『Wisdom in Depth』 赤野一郎・井上永幸・田畑圭介他 7 名(三省堂 平成 20 年 10 月 20 日)
- ◇「コーパスに基づく facility の数の分析」(英語コーパス研究第 15 号 pp. 97-105 平成 20 年 3 月 25 日) ◇「Dual ウィズダム英和用例コーパスの活用法」(第 2 回 JACET 英語辞書研究会・英語語彙研究会合同研究大会 麗澤大学 平成 20 年 3 月 22 日) 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

コーパスを活用した英語教育、英語研究を概観し、現在の担当授業に活用できる方策を検討している。またそれに関連する学習テキストの制作にも取り組んでいる。

(Cunningham Robert Wesley )

准教授 **R. W. カニンガム**



- ① 担当科目 : 基礎英語 I・II 実用外国語 観光英語 I 卒業研究 I・II 他
- ② 出身学校 : Wittenberg University
- ③ 学 位 : 文学士: 心理学、東アジア研究
- ④ 所属学会 : ETJ (English Teachers in Japan)
- ⑤ E-mail : wes@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇論文: 「Game-theory and Activities that Students Can't Resist」(ムードルムーと 2010 函館未来大学) ◇「Audio-visual display of sentences for teaching reduced forms in spoken English」(金沢学院短期大学紀要 51 号 2010) ◇「Technology Infusion into the EFL Classroom: Digital Video Recording of Student Performances for Feedback and Evaluation in English Conversation Classes.」(金沢学院短期大学紀要 45 号 2004) 他 他

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

Technology in English as a Foreign Language Instruction: Appropriate use and development of digital media, Moodle and other emerging technologies to enhance the EFL learning experience among Japanese college students.

(Yumiko Nanao)

准教授 **七尾 由美子**



- ① 担当科目 : 栄養指導論 栄養教育論 栄養情報処理実習Ⅱ 栄養指導論実習  
② 出身学校 : 東京家政大学家政学部栄養学科管理栄養士専攻  
③ 学 位 : 家政学士  
④ 所属学会 : 日本栄養改善学会、日本食生活学会、日本健康教育学会 他  
⑤ E-mail : nanao@kanazawa-gu.ac.jp (TEL:076-229-8957)

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇論文「ストレス負荷によって起こる身体的・精神的変化に及ぼすβ-カロテン及びビタミンCの影響について」栄養学雑誌 53 巻 2 号 ◇報告書「武蔵野市健康推進計画の評価および武蔵野市民の健康意識に関する調査研究」平成 18 年～21 年 ◇学会発表「高校女子バスケットボール部選手における栄養指導効果についての研究」第 53 回日本栄養改善学会 ◇学会発表「武蔵野市健康診査に関する調査研究（第 4 報）第 57 回日本栄養改善学会

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他 対象特性別栄養教育の影響、食生活実態調査

(Kimiko Nishino)

准教授 **西野 喜美子**



- ① 担当科目 : 臨床栄養学特論Ⅱ 臨床栄養学実習 栄養アセスメント概論 応用栄養学他  
② 出身学校 : 同志社女子大学大学院食物栄養科学専攻  
③ 学 位 : 食物栄養科学修士  
④ 所属学会 : 日本静脈経腸栄養学会 病態栄養学会 糖尿病学会 日本臨床栄養学会 他  
⑤ E-mail : k-nisino@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇投稿論文：分割摂取が肥満による代謝異常に及ぼす多面的効果  
◇2 型糖尿病の栄養食事療法と QOL について学会報告  
◇栄養管理加算システムにおける栄養障害について学会報告  
◇内臓脂肪蓄積型肥満と生活習慣病学会報告 ◇1 型糖尿病サマーキャンプ栄養教育

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

特定検診における保健指導 肥満症の行動変容 糖尿病の栄養管理

(Fumie Mizuguti)

准教授 **水口 富美江**



- ① 担当科目 : 給食経営管理論 給食経営管理実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 学校栄養教育論 教育実習指導(事前・事後指導) 栄養教育実習
- ② 出身学校 : 金沢大学
- ③ 学 位 : 教育学修士
- ④ 所属学会 : 日本栄養改善学会 日本給食経営管理学会
- ⑤ E-mail : mizuguti@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- ◇学位論文「野菜ジュースの抗酸化性について」 ◇修士論文「おからフリー豆腐の製造およびその成分特性に関する研究」 ◇学会発表「児童の食物嗜好(好き嫌い)と家庭における食事に関するお手伝い行動の関連性について」(北陸栄養改善学会)
- ◇災害時に対応する食糧の備蓄に取り組む管理栄養士の役割(学会誌実践報告)

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 小学生と中学生の「食と生活」の実態調査をし、その結果を解析する。
- ② 保育園児の嗜好について入園時の年齢による違いを考察する。
- ③ 校内実習において大量調理施設衛生管理の方法の習熟度を調べる。

(Koutarou Kameda)

講師 **亀田 孝太郎**



- ① 担当科目 : 日本語表現Ⅰ・Ⅱ 国語基礎Ⅰ・Ⅱ 地域文化論 国語表現
- ② 出身学校 : 二松学舎大学文学部中国文学科
- ③ 学 位 : 文学士
- ④ 所属学会 : 全国漢文教育学会
- ⑤ E-mail : kameda@kanazawa-gu.ac.jp

#### I. 主な研究業績・作品等

- 「『論語』にみる、古典としての『詩』の受容と思想的変容について」  
「国語総合」における『論語』の教材観—漢文思想教材『論語』指導上の留意点—

#### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 高等学校古典(古文・漢文)教材の研究とその指導法
- ② 「漢文」思想教材(論語・老荘・韓非子など)の取り扱いと指導の在り方
- ③ 国語教養のための漢字理解(字源・故事成語など)の教材化

(Hirone Ayako)

講師 **廣根 礼子**



- 色彩とデザイン マルチメディア演習 卒業研究 I・II  
タイポグラフィー コミュニケーションデザイン カラー  
① 担当科目 : ー・ビジュアルデザイン I・II 基礎演習 デザイン演習  
III  
② 出身学校 : 金沢美術工芸大学  
③ 学 位 : 芸術学士  
④ 所属学会 :  
⑤ E-mail : hirone@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

羊毛を主原料とする繊維による造形作品の制作・展示、ワークショップ。

◇2007.12 個展(金沢市) ◇2008.12 講師:家庭教育学級(金沢市) ◇2009.10 出展:第5回 雪のデザイン展(中谷宇吉朗雪の科学館) ◇2009.12 講師:家庭教育学級(金沢市) ◇2010.1 個展(金沢) ◇2010.12 出展:結晶-それぞれの思い-(加賀アートギャラリー) ◇2010.12 出展:工芸都市高岡 2010 クラフト展(大和高岡店) ◇2012.07 出展:群馬県立館林美術館企画展示「雪と氷」 ◇2012.10 出展:工芸都市高岡 2012 クラフト展(大和高岡店) ◇2012.12 講師:家庭教育学級(金沢市) ◇2013.02 個展(金沢市) ◇2013.03 出展:「生活工芸/金沢」(代官山 T-SITE ギャラリー) 他

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 羊毛を主原料とする繊維による造形作品の制作・展示 ② ワークショップ

(Emiko Iwata)

講師 **岩田 恵美子**



- 調理科学実験 調理科学実習 応用調理学実習 食と環境  
① 担当科目 :  
② 出身学校 : 神戸女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻  
③ 学 位 : 博士(食物栄養学)  
④ 所属学会 : 日本栄養・食糧学会 日本家政学会 日本栄養改善学会  
⑤ 研究室 : 5-107号室 (TEL 076-229-8752)  
⑥ E-mail : e-iwata@kanazawa-gu.ac.jp

I. 主な研究業績・作品等

◇ 論文 Iwata E, Hotta H, Goto M: Hypolipidemic and bifidogenic potentials in the dietary fiber prepared from Mikan (Japanese mandarin orange: *Citrus unshiu*) albedo. J Nutr Sci Vitaminol. 58: 175-180, 2012. Iwata E, Hotta H, Goto M: The screening method of a bifidogenic dietary fiber extracted from inedible parts of vegetables. J Nutr Sci Vitaminol. 55: 385-388, 2009. (共著) L-アラビノース添加スクロースのラット盲腸内ビフィズス菌菌数に及ぼす影響. 栄養学雑誌 65: 249-254, 2007. (共著) ビフィズス菌の遺伝子科学— 栄養と健康の微生物学をめざして. 神戸女子大学 家政学部紀要 36: 11-22, 2003

II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

- ① 調理操作が金時草の栄養成分や食味におよぼす影響について

(Kazuo Morita)

講師 **森田 一雄**



- ① 担当科目 : スポーツ科学 I・II 健康と運動 I・II (救急処置を含む)
- ② 出身学校 : 大阪教育大学
- ③ 学 位 :
- ④ 所属学会 :
- ⑤ E-mail : k-morita@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

体育教師 ソフトボール部監督

昭和 52 年～平成 2 年 滋賀県立大津商業高校勤務

昭和 59 年 秋田総体 (32) 平成元年 徳島総体 (8)

昭和 63 年 全国選抜 (16) 昭和 58 年 群馬国体 (8) 少年女子滋賀選抜

平成 4 年～平成 13 年 滋賀女子高校勤務

平成 10 年 香川総体 (32)

平成 8 年 全国選抜 (1 回戦負け) 平成 13 年全国選抜 (32)

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

ソフトボール道の追求

(Nanase Takazawa)

助教 **高澤 奈々世**



- ① 担当科目 : ライフプランニング 食と社会 食品物性論
- ② 出身学校 : 金沢学院短期大学専攻科食物栄養専攻
- ③ 学 位 : 学士 (栄養学)
- ④ 所属学会 : 調理科学会 日本栄養改善学会 日本食生活学会
- ⑤ E-mail : takazawa@kanazawa-gu.ac.jp

### I. 主な研究業績・作品等

◇ 論文

「ソバ蒸しパンの性状および抗酸化性とグルテン添加量の影響」

日本調理科学会誌, Vol.44, No.1, 55～63

◇ 学会発表

「グルテン添加ソバ蒸しパンのレオロジー特性と抗酸化性の検討」 第54回 日本栄養改善学会学術  
総会

「雑穀由来糖化液添加食パンのレオロジー特性」 日本調理科学会 平成24年度大会

「Study on beneficial function of saccharified solution from miscellaneous cereals」

International Conference on Food Factors 2011 他

### II. 現在の主な研究・制作テーマ等、その他

雑穀由来糖化液の基礎特性ならびに加工利用法の検討

# 索引 (五十音順)

四十木 守	… 22	高澤 奈々世	… 69	平井 敦夫	… 40
秋山 稔	… 2	高田 伸彦	… 34	平木 孝志	… 32
朝木 敏子	… 14	高橋 啓	… 20	平下 政美	… 41
阿手 雅博	… 3	武腰 敏昭	… 29	廣根 礼子	… 68
飯田 栄治	… 33	竹味 能成	… 52	福井 卓也	… 43
石川 温	… 23	武村 敏幸	… 55	福田 裕一	… 27
石崎 建治	… 11	田中 晴人	… 21	福本 俊樹	… 26
市島 桜魚	… 29	田邊 正彰	… 48	古澤 治司	… 41
井篁 敬	… 39	田畑 圭介	… 65	棒田 邦夫	… 35
岩田 惠美子	… 68	塚崎 玲子	… 54	前 史雄	… 32
大滝 宏一	… 17	槻木 裕	… 1	前川 浩子	… 16
大野 尚弘	… 25	寺田 達也	… 15	益子 待也	… 50
大場 吉美	… 33	寺田 智美	… 15	松井 良雄	… 61
岡田 政則	… 34	中川 恵理子	… 58	丸山 章子	… 44
奥井 めぐみ	… 20	中崎 崇志	… 16	水井 雅子	… 50
笠間 弘美	… 23	中路 融人	… 30	水口 富美江	… 67
可部野 和子	… 64	中島 彰史	… 48	見瀬 和雄	… 13
亀田 孝太郎	… 67	中西 一夫	… 24	南 俊博	… 53
木梨 由利	… 10	中西 茂行	… 49	村上 清史	… 42
木村 敦子	… 62	中町 力	… 49	村谷 聡志	… 57
國田 千恵子	… 61	仲丸 英起	… 18	森 浩一	… 22
桑野 裕昭	… 24	中村 晋也	… 17	森田 一雄	… 69
河内 久美子	… 4	中村 直行	… 26	諸岡 康哉	… 51
越田 久文	… 36	七尾 由美子	… 66	柳澤 良一	… 9
児島 新太郎	… 35	西川 友之	… 39	矢野 俊博	… 63
小嶋 芳孝	… 12	西川 峯高	… 40	山岸 由美子	… 56
小谷 学	… 25	西田 伸一	… 30	山崎 達文	… 52
G. べ 仆ッ	… 10	西田 英郎	… 7	山脇 あゆみ	… 46
小林 淳一	… 64	西野 喜美子	… 66	吉田 一誠	… 37
小松 洋一	… 51	丹羽 俊夫	… 31	米澤 順一	… 56
酒井 亨	… 53	根本 博	… 21	R. フロダウエイ	… 11
佐々木 圭一	… 54	野村 孝弘	… 63	林 文慧	… 57
薮 際子	… 14	羽場 文彦	… 36	R. W. カニカム	… 65
清水 宣義	… 12	馬場先 恵子	… 31	渡邊 琢夫	… 62
水洞 幸夫	… 9	春名 亮	… 45	渡辺 直勇	… 45
鈴森 庸雄	… 43	坂東 貴夫	… 55	渡辺 涼子	… 42
高木 香代子	… 44	東四柳 史明	… 13		